

Talkman T5 製品ガイド

2015 年 7 月

ETP.PG.5005B.2015.07

特記事項

Vocollectのマニュアルについて

© 1987-2015 Honeywell International Inc. All rights reserved.

商標

Vocollectの製品名、会社名、Vocollect Voice、VoiceCatalyst、VoiceClient、VoiceConsole、Talkman、TouchConnect、SoundSense、Vocollect Adaptive Speech Recognition、およびそれらのロゴはVocollectの商標または登録商標です。

本書に含まれるその他のすべての製品名は、各所有者の商標または登録商標です。所有者は、Honeywellと系列関係、協力関係、または後援関係にあることも、ないこともあります。商号、商標、メーカー、その他によるサードパーティの製品、プロセス、刊行物、サービス、および提供物への言及は、必ずしもHoneywellによるそれらの支持または推奨を構成または示唆するものではありません。

出版者

Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions
703 Rodi Road
Pittsburgh, PA 15235-4558
電話：412-829-8145
ファックス：412-829-0972
<http://www.vocollectvoice.com>

機密保持

本書は、Honeywellのハードウェアを使用するHoneywellのお客様に情報を提供するものです。

このドキュメントに含まれる機器のデザインと技術情報はHoneywellの機密事項です。Honeywellの書面による許可なく、利用または開示することはできません。

警告および免責

Honeywell International Inc. (以下“HII”といいます)

は本書に含まれる仕様およびその他の情報を予告なく変更する権利を留保し、読者はそのような変更が行われたかどうかを判断するにはいかなるケースにおいてもHIIに確認する必要があります。

本書に含まれる情報はHIIの約束を表したものではありません。HIIは本書に含まれる技術的あるいは編集上の不備または記載漏れ、および本書の提供、出来栄え、使用の結果生じた偶発的あるいは結果的損害についても責任を負いません。

本書には著作権で保護された専有情報が含まれています。All rights are reserved.

本書のいかなる部分も、HIIの事前の書面による同意なく複写、複製あるいは他の言語に翻訳することはできません。

目次

第 1 章 : はじめに	9
Talkman 端末およびヘッドセット.....	9
一般安全ガイドライン.....	10
Honeywell 電池の安全性.....	11
お問い合わせ.....	12
特許と知的財産.....	13
第 2 章 : Talkman T5 の使用	15
A500/T5 端末の充電.....	16
端末内の A500 または T5 電池の充電.....	16
A500 または T5 シリーズ電池の充電.....	16
充電器からの A500、T2 シリーズ、T5 シリーズ 端末の取り外し.....	17
Talkman A500、T5 または T2 シリーズ 端末への電池挿入.....	17
Talkman A500、T5 または T2 シリーズ 端末からの電池の取り外し.....	18
電池のウォームアップ時間.....	19
Talkman ウェアラブル コンピュータをオンにする.....	19
Talkman 端末の電源オフ.....	19
LED インジケータについて.....	21
T5 シリーズ 端末の LED インジケータ.....	21
端末に対する作業員テンプレートの読み込み.....	22
音声の調整.....	23
音声のピッチ調整.....	23
音声を用いた音声の音量調整.....	24
端末のボタンを用いた音声の音量調整.....	24
音声の速度調整.....	24
音声の性別変更.....	25
Talkman コマンドについて.....	25
聴覚に障害のあるユーザー向けオプション.....	26
Vocollect 機器のクリーニング手順.....	26
プラスチックのクリーニング.....	27
端子のクリーニング.....	27
第 3 章 : T5 端末の車両への搭載	29
Talkman A500/T5 VMT のマウント.....	29

Talkman A500/T5 VMT アクセサリ.....	30
Talkman A500/T5 VMTの配置.....	31
Talkman A500/T5 VMT用取り付けブラケットのインストール.....	31
電源へのケーブルの接続と車両への電源の取り付け.....	32
Talkman A500/T5 VMTモバイル コンピュータと車載電源の接続.....	34
車両からのA500/T5 VMT端末の取り外し.....	36
VMT取り付けのベストプラクティス.....	36
第 4 章 : 充電器.....	41
T5/A500 統合充電器.....	42
簡単設定.....	42
T5/A500統合充電器に対する電源接続.....	44
T5/A500統合充電器用壁面マウント.....	44
LEDインジケータについて.....	45
第 5 章 : 機器における各種問題のトラブルシューティング.....	47
ヘッドセットから何も聞こえません.....	47
バーコード リーダーがスキャンを行いません.....	47
端末から数秒毎にビーブ音が発生します.....	47
端末が音声アプリケーションを読み込みません.....	48
端末が作業員テンプレートを読み込まない.....	48
端末がボタン操作に反応しません.....	48
端末がオンになりません.....	48
端末がオフになったままです.....	48
Talkman A500/T5電池充電器 - トラブルシューティング ガイド.....	49
LEDで示される問題のトラブルシューティング.....	52
エラーメッセージについて.....	52
番号付きエラー メッセージ.....	52
音声エラー メッセージ.....	61
テクニカル サポートへのコンタクト.....	65
ほとんどのサポートリクエストで必要となる一般的情報.....	65
サポートに問い合わせを行う際に答えを用意しておくべき項目.....	65
VoiceConsoleにおける端末ログの有効化.....	65
修理のための機器返却について.....	66
Vocollectに返却する部品の梱包.....	66
修理のための機器返却：RMA (Return Material Authorization) 手順.....	67
VMT構成のトラブルシューティング.....	67
付録 A : 仕様.....	71

T5シリーズ仕様：Talkman T5、Talkman T5m.....	71
A500/T5高性能電池仕様.....	71
T5/A500 10-ベイ統合充電器仕様.....	72
T5/A500統合充電器電源仕様.....	73
Talkman A500/T5 VMT アクセサリ仕様.....	73
付録 B : アクセサリ.....	75
T5/A500アジャスタブル ショルダー ハーネス.....	75
T5/A500ショルダー ハーネスへの端末装着.....	75
T5/A500アジャスタブル ショルダー ハーネス仕様.....	76
ベルトとベルトクリップ.....	76
ベルトおよびクリップの使用.....	76
Tシリーズのベルト仕様.....	77
端末カバー.....	77
T5/A500 エラストマー スキン カバー仕様.....	78
A500、T5シリーズ端末に対するカバーの取り付け.....	78
付録 C : 部品番号.....	79
部品番号インデックス：Vocollectウェアラブル コンピュータ.....	79
部品番号インデックス：Talkmanアクセサリ.....	79
部品番号インデックス：充電器.....	80
付録 D : テンプレートのトレーニング オプション.....	83
Talkman端末のみによるトレーニング.....	83
QTERMビジュアルトレーニング端末、ケーブル付き.....	84
QTERMビジュアルトレーニング端末を設定します.....	84
QTERMビジュアルトレーニング端末構成します.....	84
ビジュアル トレーニング端末を用いたトレーニング.....	85
VoiceConsole画面を介したトレーニング.....	86
単語の一覧を用いたトレーニング.....	86
付録 E : 準拠.....	89

第1章

はじめに

Vocollectハードウェアマニュアルおよび製品ガイドには、ハードウェア製品および周辺機器に関する幅広い情報が記載されています。

このマニュアルには、次の情報が含まれています。

- 安全に関する情報
- ハードウェア仕様
- VocollectハードウェアやVocollectソフトウェアと互換性のあるサードパーティ端末のインストール手順および基本的な操作方法
- 部品番号
- 規制および準拠宣言
- トラブルシューティングの手順

対象読者

本書は、ハードウェアの認定再販業者、営業担当者、お客様、およびユーザを対象としています。

Talkman端末およびヘッドセット

Vocollect Talkman™端末は、Vocollectヘッドセットとともに使用して、音声指令型の作業を行うためのウェアラブル端末です。作業員はTalkman端末を使用して、倉庫におけるオーダーピッキングや工場における出荷検査等の作業の実施命令を聞き、簡単なフレーズを用いた音声によるデータ入力を行います。

すべてのTalkman端末では作業員の両手が自由になり、端末が検査、ピッキング、修理等の作業の妨げになることはありません。

Talkman A700 製品ファミリー、T5シリーズ、およびT2シリーズ端末

これらの端末モデルは、工業用に設計された堅牢な端末です。カスタマイズされたベルトやショルダーハーネスに専用のクリップを用いて装着します。

Talkman A500 VMT (Vehicle Mounted Talkman: 車載型Talkman) およびT5 VMTは、電池アダプタをフォークリフトなどの倉庫用車両に搭載したA500端末およびT5端末です。端末を取り付けた後、電池アダプタをT5端末の電池領域に装着し、それを車両電源に接続します。

Talkman T1

Talkman T1は軽作業環境向けに特化して設計されました。Talkman T1端末は、T2シリーズ、T5シリーズ、A500、およびA700シリーズの端末と比べ、軽量かつ安価です。端末に対して極端な堅牢性が要求されない作業領域での使用に適しています。Talkman T1端末は、ベルトクリップの付いた専用のホルスタに収容します。


音声認識ヘッドセット

端末からの指示や問い合わせは、マイク付きのVocollect音声認識ヘッドセットにより聞き取ります。端末に対する情報のリクエストや端末からの要求に基づいたデータの入力には、音声入力を使用します。

このヘッドセットでは、Vocollect Adaptive Speech Recognition™を使用して、時間の経過や環境の違いに伴う発話パターンの変化を捕捉することで音声認識およびシステムパフォーマンスを向上させます。

製品の使用および取り扱い

- Talkman端末はVocollectの製造ガイドラインを厳守して組み立てられています。端末を改ざんすると操作上の仕様が無効になるだけでなく、製品の保証も無効になる可能性があります。
- 使用していない時は、Talkmanを充電器へ適切にセットしておいてください。
- Talkmanからの電池の取り外しは、その電源を適切にオフにした後に行わなくてはなりません。
- VocollectはTalkmanを、体の右側に装着した状態で、端末のボタンが上部（T5シリーズ、T2シリーズ、A500、A-700シリーズ）または正面（T1）を向き、コネクタが作業員の背中（A500、T5シリーズ、T2シリーズ、A-700シリーズ）または上方（T1）に向かうように設計しました。
- Talkman T1は、ホルスタの開口部を上に向けた状態で収納してください。開口部を下向きや横向きにした状態で収納していると、ユニットが落下する危険があります。
- 機器を保護し、最適な音声認識のパフォーマンスを確保するため、Vocollectヘッドセットには常にパッドとウィンドスクリーンを取り付けて使用してください。
- 最良のパフォーマンスを確保するため、90日ごとにウィンドスクリーンを交換することをお勧めします。

 **注意:** 機器の硬質プラスチック部分のクリーニングには、イソプロピルアルコール70%と水30%の溶液のみを使用してください。他の製品はテストされていないため、機器を害する可能性があります。



一般安全ガイドライン

Vocollectの電子機器を取り扱う際は、次の様なガイドラインに従ってください：

- 接地が必要な機器は、コンセントへの接続と適切な設置を行い、すべての規制に従って接地を行ってください。
- 接地プロングを取り外したり、プラグを改造してはいけません。
- プラグアダプタは使用しないでください。
- コンセントが適切に接地されていないと思われる場合には、テスタによるチェックや、電気工事士等への確認を行ってください。
- 電気的な接続は乾燥した状態を保ち、グラウンドからは絶縁してください。
- 電子機器を雨や濡れた場所で使用してはいけません。
- プラグやツールに濡れた手で触れてはいけません。
- コードを乱暴に扱わないでください。コードを持って機器を持ち上げたり、コンセントからプラグを抜く際にコードを引っ張ったりしてはいけません。コードは熱、油、鋭いエッジ、可動部品等から遠ざけてください。痛んだコードは直ちに交換してください。
- 延長コードは承認済みのもののみを使用してください。

スキャナあるいはイメージャを使用する際には、光を直接見ないでください。

機関準拠宣言

Vocollectの端末やワイヤレス ヘッドセットは、販売地域の規則および法律に準拠するように設計されており、必要に応じてラベルが貼られています。Vocollectの端末はタイプが承認されているので、使用前にライセンスまたは認証を受ける必要はありません。Honeywellによって明示的に承認されない変更または修正を行うと、装置を操作する権利が無効になる可能性があります。

Honeywell電池の安全性

電池の取り扱い方を間違えると、高温、発火、爆発、または損傷の危険性があるだけでなく、充電容量の低下の原因となることがあります。電池の使用前および使用中にこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にご使用ください。

以下の内容は、一般的な注意事項とガイドラインで、あらゆる使用方法のシナリオを想定したものではありません。製造業者は、以下に記載されていない使用方法による行為または事故について、一切責任を負いません。

警告:

- 電池を分解したり、パッケージを開いたり、落したり(乱暴に扱ったり)、破壊したり、曲げたり、変形したり、穴を開けたり、粉碎したりしないでください。
- 電池を改造したり、再生したり、異物を挿入しないでください。水やその他の液体で濡らさないでください。火や高熱(はんだごてなど)に近づけないでください。また、電子レンジに入れないでください。
- 電池は、指定された端末でのみご使用ください。
- 電池の液漏れを見つけたときは、皮膚や目に付着しないように注意してください。皮膚や目に付着したときは、多量の水で洗浄し、医師に相談してください。
- 電池をショートさせたり、金属や導体を両方の電池端子に同時に接触させないでください。
- 電池を交換する際は、ご使用の製品に指定されている電池のみを使用してください。指定されていない電池を使用すると、火災、爆発、液漏れなどが生じる可能性があります。
- 電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 電池の充電中に膨張、変形、発煙、発熱の兆候が見られた場合は、ただちに充電を中止し、電池を取り外してください。できるだけ建物や車内から離れ、安全な場所から約 15 分間、状況を監視してください。
- 使用済み電池を廃棄する場合は、お住まいの地域の規則に従ってください。電池の廃棄方法の指示や規則は、国によって、また米国内であっても地域によって異なります。多くの場合、施設または企業で使用済み電池を回収しています。
- 電池の不適切な取り扱いは、火災、爆発などの原因となります。
- Honeywell電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- Honeywellは、Honeywell電池以外の電池を使用した場合の装置の不具合によるいかなる損傷についても責任を負いません。
- Honeywellは、Honeywell充電器以外の充電器を使用した場合の装置の不具合によるいかなる損傷についても責任を負いません。

注意:

- 装置または端末を長期間使用しない場合は、電池を取り外して常温および適切な湿度で保管してください。
- 電池を充電器に装着したまま、長期間放置しないでください。電池の寿命が短くなるなど、不具合が生じる場合があります。充電器から取り外し、上記の指示に従い保管してください。
- 装置を使用しない場合、電源を切ってください。

使用済み電池の処理

- 電池を発送する際は、輸送中の事故防止のため、電池の端子部分にテープなどで絶縁処理を施してください。Honeywellの電池は、49 CFR 172.102の特別規定188またはIATA例外規定A45に基づいて発送可能です。
- 電池は、雨や水に濡れないようにしてください。
- 電池を分解しないでください。
- 電池は、直射日光の当たる場所に放置しないでください。
- 電池は、丈夫なふた付きの容器に保管してください。

お問い合わせ

マニュアルに対するご意見

Vocollectのマニュアル作成において、お客様のご意見は非常に重要です。このマニュアルで説明されている手順でわからない事がありましたら、Vocollect 技術サポートにお問い合わせください。

Vocollect のほとんどの技術的情報は VoiceWorld、<https://www.voiceworld.com> から入手できます。

Honeywell Scanning & Mobility - Vocollectの再販業者によるサービス

再販業者から Honeywell Scanning & Mobility - Vocollect 製装置やサービスをお買い上げになった場合、サポートや購入に関する質問はまずその再販業者にお問い合わせください。

Honeywell Scanning & Mobility - Vocollectテクニカル サポート

ご質問はテクニカルサポートにご相談ください：

米国電話：866-862-7877
vocollectsupport@honeywell.com

欧州、中東、アフリカ電話：+44 (0) 1628 55 2902
vocollectEMEA@honeywell.com

北米（米国を除く）、中南米、オーストラリア、ニュージーランド電話：412-829-8145、
オプション3、オプション1
vocollectsupport@honeywell.com

日本、韓国電話：+813 6730 7234
vocollectJapan@honeywell.com

Honeywell Scanning & Mobility - Vocollect カスタマ サービス

製品のご注文、注文の処理状況、返送、RMA（Return Material Authorization）の処理状況、またはその他のカスタマ サービスについては、Honeywell Scanning & Mobility - Vocollectカスタマ サービスにお問い合わせください。

米国電話：866-862-6553、オプション3、オプション2
VocollectRequests@honeywell.com

欧州、中東、アフリカ電話：+44 (0) 1628 55 2903
VocollectCSEMEA@honeywell.com

北米（米国を除く）、中南米、オーストラリア、ニュージーランド電話：412-829-8145、オプション3、オプション2
VocollectRequests@honeywell.com

日本、韓国電話：+813 6730 7234
vocollectJapan@honeywell.com

Honeywell Scanning & Mobility - Vocollect RMA

修理のために機器を返送するには、ヴォコレクトジャパンRMAに連絡してください。
電子メール：VocollectJapanSupport@honeywell.com

販売および一般的な事項に関するお問い合わせ

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions**
703 Rodi Road
Pittsburgh, PA 15235-4558
電話：412-829-8145
ファックス：412-829-0972
VocollectInfo@honeywell.com
<http://www.vocollectvoice.com>

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions Europe** Honeywell House
Skimped Hill Lane Bracknell, Berkshire RG12 1EB
United Kingdom 電話：+44 (0) 1628.55.2900
vocollectEMEA@honeywell.com

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions Latin America**
電話(北)：+52 55 5241 4800 内線 4915
電話(南)：+1 412 349 2477
vocollectLatin_America@honeywell.com

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions ジャパン**
〒105-0022 東京都港区海岸
1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー20F
：+813 6730 7234
vocollectJapan@honeywell.com

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions Asia-Pacific**
21/F Honeywell Tower, Olympia Plaza
255 King's Road, North Point, Hong Kong
電話（香港）：+ 852 2331 9133
電話（中国）：+ 86 186 1698 7028
電話（オーストラリア）：+ 61 409 527 201
vocollectAsiaPacific@honeywell.com

**Honeywell Scanning & Mobility
Vocollect Solutions Singapore**
151 Lorong Chuan
#05-02A/03 New Tech Park, Lobby C
Singapore 556741
電話：+65 6305 2369
vocollectSingapore@honeywell.com

特許と知的財産

参照してください <http://www.hsmpats.com>。

第 2 章

Talkman T5の使用



図 1 : Vocollect Talkman® T5の概要

- | | | |
|----------------|-----------------|--------------------|
| 1 - 電池 | 4 - ヘッドセット ポート | 7 - マイナス (−) ボタン |
| 2 - 電池取り外しボタン | 5 - 再生/一時停止ボタン | 8 - [作業員]ボタン |
| 3 - メンテナンス ポート | 6 - プラス (+) ボタン | 9 - ベルト クリップ |
| | | 10 - 端末カバー (オプション) |

Talkman® T5は、小型軽量で無線機能を備えた音声対応の端末です。工業環境の厳しい状況で動作するように設計されています。Talkman T5mは、メモリとデータストレージ容量を増強した拡張メモリバージョンです。

Talkman T5シリーズの機能

- Bluetooth®互換の無線機能により、ヘッドセット、バーコードリーダー、プリンタ、およびその他の周辺機器をワイヤレスで接続
- 高性能電池が、凍結の起こる条件でも継続的に電源を供給
- 人間工学に基づいた設計により、ユーザは、ベルトやショルダーハーネスを違和感なく装着可能
- エラストマー端末カバーが端末を保護
- 4ボタンインターフェースで操作が簡単
- 電池、充電器、ヘッドセットはTalkman A500と共用
- Vocollect VoiceClient音声ソフトウェアをサポート

A500/T5端末の充電



図 2 : Talkman A500/T5高性能電池

A500/T5電池は高性能モデルです。接点がケース平面上にあるT2シリーズの電池とは異なり、A500/T5電池の形状ではピンの部分が外側に突き出しています。

⚠ 注意: A500/T5シリーズの電池と他のVocollect電池は相互利用できません。端末に誤った電池をセットしようとすると、端末や電池に損傷を与える可能性があります。

A500/T5端末では、高性能電池を端末にセットしたままでも、端末から取り外しても充電できるVocollect統合充電器を使用します。

端末内のA500またはT5電池の充電

1. ウェアラブル コンピュータをベルト クリップから外します。
2. 他の周辺機器を取り外します。
3. 充電器の空きスロットにウェアラブルコンピュータを挿入し、下方に押し込んだ後、「カチッ」という音が聞こえ適切な個所に納まるまで後方に押し込みます。
4. ウェアラブル コンピュータを充電器にセットしたら、ウェアラブル コンピュータのLEDインジケータが点灯し、緑色の点滅を開始することを確認します。
 - a) 30秒経ってもLEDが点灯しない場合は、充電スロットからウェアラブル コンピュータを取り外し、セットしなおしてください。
 - b) それでもLEDインジケータが点灯しない場合には、別の充電スロットを試してください。

⚠ 注意: ヘッドセットやその他の周辺機器を外す前に、充電器へのセットを試みてはいけません。充電器に端末がセットされている間に、端末から電池を外してはいけません。

A500またはT5シリーズ電池の充電

1. Talkmanウェアラブル コンピュータから電池を取り外します。
2. 端子を下向きにし、Vocollectのラベルと向きあうように電池を持ちます。



図 3 : 充電器への電池の差し込み

3. 電池を充電器上部の空き電池スロットにセットします。
充電器に電池が適切にセットされると、該当するスロットに対する左側のLEDが赤く点灯します。

注: LEDインジケータは、上側が充電器の電池スロットに対応し、下側がウェアラブル コンピュータ スロットに対応しています。

充電器からのA500、T2シリーズ、T5シリーズ端末の取り外し

端末は、LEDインジケータが緑色で点滅すれば、いつでも利用可能です。LEDが赤く点滅している場合は、利用準備が整っていません。

! 重要: 端末で赤い点灯が継続して確認される場合には、システム管理者に問い合わせてください。

1. 端末の利用準備が整っていることを確認します。
2. 端末を引き上げ、端末充電器から取り外します。



図 4 : 充電器からの端末の取り外し

Talkman A500、T5またはT2シリーズ端末への電池挿入

挿入する電池が完全に充電されていることを確認してください。

1. 黄色と赤色のポートが視線に対して向こう側になるようにTalkmanを持ちます。
2. ピンが視線に対して向こう側になり、Vocollectのロゴが見える向きで電池を持ちます。
3. 電池のピン側を適切な角度で差し込みます。

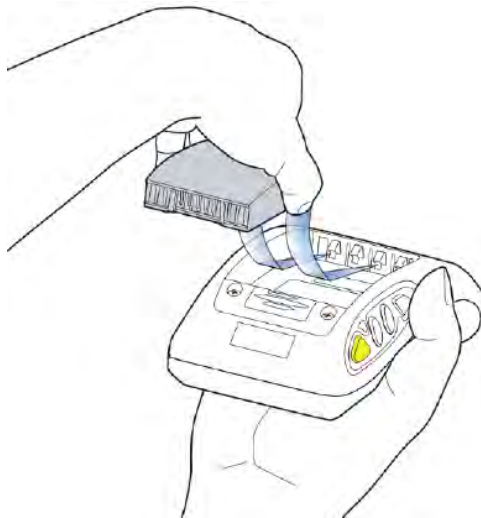


図 5 : 電池の適切な挿入

4. 電池の後ろ側を押すことで、適切な位置に納めます。
電池が適切な位置に納まると「カチッ」という音が聞こえます。

⚠ 注意: 電池を無理やりに押し込んではいけません。電池や端末に損傷を与える可能性があります。適切な位置への電池の固定が容易に行えない場合には、電池を配置しなおしたうえで、再度お試しください。

電池が完全にセットされ、取り外しボタンを押さない限り外れない状態にあることを確認してください。

Talkman A500、T5またはT2シリーズ端末からの電池の取り外し

Talkmanウェアラブル コンピュータがオフであることを確認します。

⚠ 注意: LEDインジケータがオフになるまで、電池を外してはいけません。端末がオンあるいは休止状態にある場合での電池の取り外しは、収集データの破壊につながる可能性があります。

1. 電池挿入区画と向きあうように、片手にウェアラブル コンピュータを持ちます。
2. 電池挿入区画から電池上部が持ちあがるまで、電池の取り外しボタンを完全に押し込みます。



図 6 : 端末からの電池の取り外し

3. 挿入区画から電池を持ちあげ、取り外します。

電池のウォームアップ時間

寒冷環境で利用した電池の充電は、十分なウォームアップ時間を経るまで始まりません。

電池の使用環境	ウォームアップに必要なおよその時間
-4°C (24.8°F)	6分
-10°C (14.0°F)	10分
-20°C (-4°F)	22分
-30°C (-22°F)	30分

Talkmanウェアラブル コンピュータをオンにする

ウェアラブル コンピュータをオンにする際は、ヘッドセットや充電済み電池が正しく接続されていることを確認してください。

1. ウェアラブル コンピュータの[再生/一時停止]ボタンを押します。
LEDインジケータは使用する端末によって異なります。

端末タイプ	インジケータ
Talkman A700 端末	リングは黄色で回転しています。その後小さいセグメントが緑色に点灯します。
A500、 T5シリーズ、 およびT2シリーズ端末	最初にプロセッサが起動する間、赤く点灯します。その後赤と緑に点滅し、赤の点灯になり、赤の点滅になった後、緑の点灯になります。
T1	緑に点灯します。

2. 端末が次のようなメッセージを發します：「現在の作業員は、作業員名。数秒間声を出さずに静かにして下さい。」これより、端末は雑音のサンプリングを開始します。
3. 間をおいて、端末が「お待ち下さい。」というメッセージを發します。再度間をおいた後、端末は質問または指示の提供を開始します。

Talkman端末の電源オフ

Talkman端末の電源を適切にオフにするには、ボタン コントロールを使用します。端末の電源は自動的にオフになる場合もあります。まれに強制リセットが必要になることもあります。端末は、電源を完全にオフにした後、再起動することができます。

- 再生/一時停止ボタンによる電源オフ

[再生/一時停止]ボタンをLEDインジケータが赤に変わるまで押し続けます。未送信のデータは、すべて端末に保存されます。数秒経つと、端末が「電源を切ります。」というメッセージを發します。端末はオフになり、LEDインジケータの光も消えます。

 注意:

- LEDインジケータがオフになるまで、電池を外してはいけません。端末がオンあるいは休止状態にある場合での電池の取り外しは、収集データの破壊につながる可能性があります。
- LEDインジケータが赤で点滅している（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）場合には、数分間にわたり点滅し続けているような場合を除き、端末をオフにしてはいけません。LEDインジケータが赤で点滅している時に端末をオフにすると、再度オンにした際に使用する準備が整っていない可能性があります。
- LEDインジケータが赤で点滅している（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、または赤いリングが回転している（A700）場合には、数分間にわたり点滅またはリングが回転し続けているような場合を除き、端末をオフにしてはいけません。この状態で端末をオフにすると、再度オンにした場合にすぐに使用できない場合があります。

- 未使用時の電源オフ

端末のソフトウェアは、端末が指定時間動いていないことを検出すると、自動で電源をオフにします。

- 電池残量による電源オフ

端末のソフトウェアは、現在の電池残量が非常に低いことを検出すると、自動で電源をオフにします。


- 電源オフの後の端末の再起動

電源オフが適切に行われた端末であれば、電池を交換し、再生/一時停止ボタンを押すと、次の処理が実行されます。

- 背景雑音のサンプリング
- 電源をオフにした時点の処理を継続
- 電源オフの前にホストに送信できなかったテンプレートを送信
- 電源オフの前にホストに送信できなかった出力データ レコードを送信
- 電源オフの前に受信できなかったルックアップ テーブルをホストから転送

- 強制リセット

この種類のリセットは、適切な電源オフ操作を行わずに、端末から電池を取り外した際に発生します。

 注意: 強制リセットは最後の手段としてのみ実施してください。このリセットから端末を再起動すると:

- 収集済みのデータを含むメモリ内容が失われます。
- 端末の作業は最初からやり直しとなります。
- 単語情報の再トレーニング中だった場合は、端末がオン状態に戻ると、すべての単語情報テンプレートをホスト コンピュータに送信します。ホストへのテンプレート送信が完了するまで、何も行わないでください。

電池を交換し、端末を再度オンにすると、起動後に現在の作業と作業員の読み込みを試みます。作業と作業員の読み込みに成功すると、端末は新しい作業や作業員が読み込まれた場合と同じように動作します。

LEDインジケータについて

Vocollect Talkman端末とSRX/SRX2ヘッドセットおよびその充電器には、装置の状態を示すLEDがあります。これらのLEDはオン、オフまたは点滅します。一部のケースではLEDは2つの色を交互に点滅する場合もあります。

問題があることをLEDが示した場合、トラブルシューティングの手順を参照して問題を解決してください。「LEDで示される問題のトラブルシューティング」も参照してください。

T5シリーズ端末のLEDインジケータ

LED	状態	T5シリーズ端末
緑	点灯	端末がオン さらに、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> 音量調整 雑音のサンプリング 単語の再トレーニング アクティブな作業員の変更 次の音声入力の後： <ul style="list-style-type: none"> 「Talkmanヘルプ」 「Talkman繰り返し」 「Talkman続行」 「Talkman戻る」
	速い点滅	端末が充電器内にある
	遅い点滅	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> 端末が充電器外で休止モードにある 音声アプリケーションの選択メニューを使用中 ソフトウェアの特定部分を読み込み中
赤	短く点灯	端末が起動中 端末が終了中
	継続して点灯	エラー。システム管理者に問い合わせてください
	点滅	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> VoiceConsoleから作業員を取得、読み込み中

LED	状態	T5シリーズ端末
		<ul style="list-style-type: none"> • VoiceConsoleから音声アプリケーションを取得、読み取り、読み込み中 • ソフトウェアの特定部分を読み込み中
琥珀/黄色	オフ	Wi-Fiがオフ
	遅い点滅	なし
	ランダムな点滅パターン	端末のWi-Fi接続がアクティブ
青 (Bluetoothのインジケータ)	オフ	Bluetoothがオフ
	ランダムな点滅パターン	端末のBluetooth接続がアクティブ

端末に対する作業員テンプレートの読み込み

充電済み電池の取り付けられた端末、ヘッドセット、および使用するその他の機器（ベルト、バーコードリーダー等）が必要です。ラジオレンジ圏内にいる必要があります。端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していません。

1. [作業員]ボタンを押します。
端末が「現在の作業員は、作業員名。メニュー項目を選択してください。」というメッセージを發します。
2. 端末から「作業員の変更」というメッセージが聞こえるまで + または - ボタンを押してください。
3. [作業員]ボタンを押します。
4. 端末は「お待ち下さい。」というメッセージを發した後、作業員とチームの一覧を取得します。端末から「チームを選択してください。」というメッセージが聞こえるまで待ちます。
 - 端末が「現在の作業員は、（作業員名）。作業員の変更」というメッセージを發した場合は、ステップ8までスキップしてください。
5. + または - ボタンを押すことにより、所属するチームの名前が聞こえるまで、作業員チームの一覧内をスクロールします。
6. [作業員]ボタンを押します。
端末は「お待ち下さい。」というメッセージを發した後、選択したチームに所属する全作業員の一覧を取得します。端末が「現在の作業員は、（作業員名）。新しい作業員を選択してください。」というメッセージを發します。
7. + または - ボタンを押すことにより、自分の名前が聞こえるまで、利用可能な作業員名の一覧内をスクロールします。
 - 自分の名前が確認できなかった場合には、黄色の[再生/一時停止]ボタンを押すことによりこの操作をキャンセルし、ステップ2からやり直します。
 - ステップ5でチームを選択する際、"All Operators" チームを選択してください。

- "All Operators" チームでも自分の名前が見つからない場合には、管理者に問い合わせてください。

8. [作業員]ボタンを押します。

端末は「作業員を読み込んでいます。」というメッセージを発した後、ユーザーのテンプレートを読み込みます。端末は、テンプレートの読み込みを完了すると、「現在の作業員は、（作業員名）。スリープモードに入ります。」というメッセージを発します。これにより端末は休止モードに移行します。次に端末をオンにした際には、使用準備が完了しています。

音声の調整

Vocollect Talkman端末は、Vocollect Voiceソフトウェアを使用して作業員に指示を与え、作業員からの応答を求めます。

作業員が情報を明確に聞き取り、理解できるように、作業員に対する実際の音声は、次のような複数の方法で調整できます。

- 音声のピッチの高低を調整
- 音声の音量の大小を調整
- 音声の速度の大小を調整
- 音声の性別を男性または女性に変更

音声を変更する前に：端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していなくてはなりません。

音声のピッチ調整

端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していなくてはなりません。

 注：ピッチの調整は特定の言語および特定の音声に対して行うことが可能です。

1. [作業員]ボタンを押します。

端末が「現在の作業員は、作業員名。メニュー項目を選択してください。」というメッセージを発します。


2. 端末から「ピッチの変更」というメッセージが聞こえるまで + または - ボタンを押してください。

3. [作業員]ボタンを押します。

+ ボタンを用いてオプション内をスクロールした場合、[ピッチの変更]はリスト内の5つ目のメニューアイテムとして表示されます。

4. 音声を高くするには + ボタン、低くするには - ボタンを押します。

端末は、+ ボタンを押す度に「もっと高く」というメッセージを発し、- ボタンを押す度に「もっと低く」というメッセージを発します。音声のピッチが最高設定に達すると、端末は「これ以上高くすることはできません」というメッセージを発します。音声のピッチが最低設定に達すると、端末は「これ以上低くすることはできません」というメッセージを発します。

 注：[作業員]ボタンを押す前に[再生/一時停止]ボタンを押すと、設定内容を変更することなく、このメニューを終了することが可能です。

5. ピッチが希望のレベルに達したら、[作業員]ボタンを押すことにより、新しいピッチ設定を保存します。

音声を用いた音声の音量調整

端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していません。

1. 「Talkman音量」と話します。
2. 音量を上げるには「音量アップ」、下げるには「音量ダウン」と話します。
デバイスより「これ以上音量を上げることはできません。」というメッセージが発せられた場合には、それ以上音量を上げることはできません。「これ以上音量を下げることはできません。」というメッセージが発せられた場合には、それ以上音量を下げることはできません。
3. 希望の音量が設定できたら、「Talkman続行」と話すことにより、設定作業を終了します。

端末のボタンを用いた音声の音量調整

端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していません。


音声を大きくするには + ボタン、小さくするには - ボタンを押します。

端末は、+ ボタンを押すと「音量アップ」というメッセージを発し、- ボタンを押すと「音量ダウン」というメッセージを発します。音声の音量が最大設定に達すると、端末は「これ以上音量を上げることはできません。」というメッセージを発します。音声の音量が最小設定に達すると、端末は「これ以上音量を下げることはできません。」というメッセージを発します。

音声の速度調整

端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）していません。


1. [作業員]ボタンを押します。
端末が「現在の作業員は、作業員名。メニュー項目を選択してください。」というメッセージを発します。
2. 端末から「話す速さの変更」というメッセージが聞こえるまで + または - ボタンを押してください。
3. [作業員]ボタンを押します。
+ ボタンを用いてオプション内をスクロールした場合、[話す速さの変更]はリスト内の4つ目のメニューアイテムとして表示されます。
4. 音声を早くするには + ボタン、遅くするには - ボタンを押します。
端末は、+ ボタンを押す度に「もっと早く」というメッセージを発し、- ボタンを押す度に「もっと遅く」というメッセージを発します。音声の速度が最高設定に達すると、端末は「これ以上早くすることはできません」というメッセージを発します。音声の速度が最低設定に達すると、端末は「これ以上遅くすることはできません」というメッセージを発します。

 注: [作業員]ボタンを押す前に[再生/一時停止]ボタンを押すと、設定内容を変更することなく、このメニューを終了することが可能です。

5. 音声希望の速度になったら、[作業員]ボタンを押すことにより、新しい速度設定内容を保存します。

音声の性別変更

端末がオンまたは休止中であることを確認します。LEDインジケータが緑色に点灯または点滅（A500、T5シリーズ、T2シリーズ）、緑色に点灯（T1）、または緑色に点灯したセグメントがあるまたは緑色のリングが回転（A700シリーズ）してはいけません。

1. [作業員]ボタンを押します。
端末が「現在の作業員は、作業員名。メニュー項目を選択してください。」というメッセージを發します。
2. 「音声種類の変更」というメッセージが聞こえるまで + または - ボタンを押してください。
3. [作業員]ボタンを押します。
+ ボタンを用いてオプション内をスクロールした場合、[音声種類の変更]はリスト内の6つ目のメニューアイテムとして表示されます。
4. + または - ボタンをクリックし、次の音声を聞いてください。
女性の声に切り替わると「女性の声です。」、男性の声に切り替わると「男性の声です。」というメッセージを端末が發します。
 注: [作業員]ボタンを押す前に[再生/一時停止]ボタンを押すと、設定内容を変更することなく、このメニューを終了することが可能です。
5. 希望の音声を聞いたところで、[作業員]ボタンを押すことにより、その性別を選択します。

Talkmanコマンドについて

Talkman端末は、現在行っている音声指示による作業に応じて従業員に回答を求めます。しかしこれとは別に、端末を使用する間、作業員がほとんどいつでも發話できる基本的なTalkmanコマンドが用意されています。

操作	發話するコマンド
現在のプロンプトを繰り返し聞く	「もう一度」
端末を休止モードにする	「Talkman休止」
端末を起動する	「Talkman起動」
前の回答を消去し、同じプロンプトに再度回答する（VoiceClientのみ）	「Talkman 戻る」
Talkman A700 電池の残量をチェックする（VoiceCatalyst 2.0以降のみ）	「Talkman電池状態」
現在のプロンプトに対する回答方法についての説明を聞く	「Talkmanヘルプ」
現在のプロンプトに対して發話できるボキャブラリーワードをすべて聞く	「Talkmanヘルプ」
問題を特定しログファイルのスナップショットをVoiceConsoleに送る（VoiceCatalyst 1.2以降のみ）	「Talkman問題を報告」

聴覚に障害のあるユーザー向けオプション

Vocollect製品は平均レベルの聴覚を持った人向けに設計されています。補聴器等を使用している作業員は、Vocollectヘッドセットを実際の倉庫環境で使用する際に若干の調整を検討する必要があります。

Vocollectは、Talkman端末設定にに対するいくつかの基本的な変更を組み合わせで試し、聴き取り能力の改善を図ることを推奨します。

- VoiceConsoleを使って言語音声を変更する（VoiceConsoleオンライン ヘルプ参照）
- 音声のピッチの高低を調整
- 音声の音量の大小を調整
- 音声の速度の大小を調整
- 音声の性別を男性または女性に変更

補聴器が背景雑音を拾ってしまい、Talkman端末プロンプトを聴きづらくしていることに気が付くかもしれません。この場合、Vocollectはカップ型ヘッドセットを用いて補聴器からの雑音を減らすことを推奨します。

これらのオプションを試してもなおTalkman端末が聞き取りづらい場合には、Vocollectは医療機関に相談されることを強く推奨します。聴覚障害は資格のある聴覚訓練士の対応を必要とする健康状態です。副作用なくユーザーに役立つ適切なアドバイスができるよう、聴覚訓練士にはVocollect製品で対応可能なピッチ、音量、側音についてのオプションについて知らせておく必要があります。Vocollectテクニカル サポートはユーザーの聴覚訓練士にこれらのオプションを説明し、聴覚訓練士からのアドバイスに基づいてTalkman端末の構成を変更することができます。

! 注意: Talkman端末の出力レベルをさらに高めるパラメータは様々なものがあります。Vocollectは資格のある聴覚訓練士に相談することなく音声出力レベルを上げるような設定変更を推奨しません。正しい医学的アドバイスに基づくことなくこれらの設定を変更すると聴覚にさらなる損傷が及ぶ可能性があります。

Vocollect製品およびその規定オプションは、通常のワークフローおよび一般的な人に対する音の安全性を確保するよう測定、検証されています。既定の音声パラメータは、資格のある聴覚専門家による明示的な指示なく変更すべきではありません。

Vocollectパブリケーション、Evaluating Audio Safety in Your Distribution Centerは作業環境において音の安全性を維持することの重要性を説明しています。このパブリケーションはVocollectパートナー向けに <https://www.voiceworld.com> で提供されています。

Vocollect機器のクリーニング手順

Vocollect製品は、適切に手入れをすれば長期間サービスを利用することができます。以下の推奨される手順に従ってクリーニングを行ってください。

Vocollect機器は、作業環境に通常存在する汚れや付着物に耐えるように製造され、テストされていますが、取りきれなかった汚れや付着物が長期にわたって堆積すると、機器が損傷し、パフォーマンスが低下することがあります。

- 汚れや腐食により、端末を充電器に適切にセットできなくなったり、充電が断続的になったりする可能性があります。

- Talkman® Connector (TCO) の端子に、汚れや化学物質が堆積し、腐食が進むと、接触不良、静電気、および認識上の問題が発生する可能性があります。
 - キーパッドのメンブレンに汚れがたまると、メンブレンが劣化し、破れることがあります。
- ⚠ 注意: 機器のクリーニングには、70%イソプロピルアルコール溶液のみを使用してください。他の製品はテストされていないため、機器を害する可能性があります。

プラスチックのクリーニング

硬質プラスチックのクリーニング

ヘッドセット、端末、充電器、電池の硬質プラスチックは、イソプロピルアルコール70%と水30%の溶液を含ませた柔らかい布で清掃してください。

また柔らかいブラシを使用して、充電器のポケット部分のほこりや破片を除去し、機器のセットや電気接触の阻害要因を取り除きます。

フォームおよびし柔質プラスチック

ヘッドセットのフォーム部分（イヤークッション、ヘッドバンドパッド）およびフレキシブルバンドとフォーム材質でないパッドは、刺激の少ない石鹸と水で清掃してください。パッドが破れたり外れたりしないように注意して洗浄します。

部品は空気乾燥します。ヘアドライヤーや衣服乾燥機などの集中熱源は使用しないでください。

ヘッドセット ウィンドスクリーンなどのパッドが非常に汚れた場合は、交換してください。

端子のクリーニング

Talkman Connector (TCO) などの端末のフラット端子、または電池や充電器のフラット端子は、70%イソプロピルアルコール溶液で清掃してください。

柔らかく糸くずの出ない布またはアルコールで湿らせたウェット ワイプを使用します。繊維が長いまたは太い布は避けてください。繊維がコネクタに付着して接触不良の原因となることがあります。

腐食した部分は、柔らかい消しゴム（鉛筆用の消しゴムなど）で除去してください。消しゴムは、柔らかくしなやかで、根元まで磨り減っていない良好な状態のものを使用してください。自分の肌で試すと、状態がよくわかります。ざらざらするものは、接点の表面を傷付けるので使用しないでください。

また、豚毛を用いた3列クリーニングブラシを用いて、端子上の汚れを丁寧に除去する方法もあります。ブラシで汚れを落とした後にアルコールで拭くと、接点が完全にきれいになります。

電池の端子は、曲げたり手で動かしたりしないでください。

端子が極度に腐食したり、曲がったりした場合、または紛失した場合は、認定Vocollectサービス センタに連絡して端子の修理または交換を依頼してください。

第 3 章

T5 端末の車両への搭載

Talkman T5 VMT モバイル コンピュータは、フォークリフトや動力付きパレットジャック等の車両に取り付け可能な電池アース端末です。端末を取り付けた後、電池アダプタをT5シリーズ端末の電池領域に装着し、それを車両電源に接続します。

この構成のTalkman端末は有線またはワイヤレスの装置（ヘッドセット、スキャナー等）とあわせて使用する場合があります。VocollectはTalkman T5シリーズ端末を VMT構成で使用可能にする取り付けキットや電源システムを含めたセットを販売しています。

⚠ 注意: 機械や車両の操作中に端末／ユニットを見ないでください。注意が散漫になり、事故や作業員または第三者の重大な怪我を招く恐れがあります。

端末を正しくフォークリフトに取り付ける方法については以下の手順に従ってください。

- 運転者の視野を考慮し、端末を取り付けるのに最適な位置を決めます。
- 適切な設置用部品を取り付けます。
- 端末を車両の配線システムに接続します。

Talkman A500/T5 VMTのマウント

Screw On Mountは、車両の静止面にネジ留めを行うためのオプションです。

Clamp Mountは、車両の静止面にクランプするためのオプションです。必要であればネジ留めを行うことも可能です。



図 7 : Screw On Mount



図 8 : Clamp Mount

Talkman A500/T5 VMT アクセサリ

Talkman A500/T5 VMT は、RAM Mounting Systemsのハードウェアを用いて設置できるように設計されています。Vocollectでは、A500/T5用の取り付けブラケットとRAM Mounting Systemsの取り付けハードウェアを提供しています。設置のカスタマイズ等を目的とした各種ハードウェア取り付けブラケット オプションの追加購入は、RAM Mounting Systems (www.ram-mount.com) から直接行うことが可能です。

A500/T5 VMTは安定した面に取り付けてください。



図 9 : ネジ留め用取り付け部品



図 10 : ネジ留めによる取り付け



図 11 : クランプ留め取り付け部品



図 12 : クランプによる取り付け



図 13 : 電池アダプタ



図 14 : 電源

注: 注意: 独自の電源を用意することも可能ですが、1アンペアで12-15Vを供給するものである必要があり、かつ 250VA (ワット) 未満に制限されています。電源を独自に用意する場合でも、最終的にT5シリーズに接続するには、電池アダプタ ケーブルと電池アダプタを購入する必要があり、かつ 250VA (ワット) 未満に制限されています。

注: 注意: T5シリーズの車載構成において車両電源を使用することは必須ではありません。運用上の理由から、必要であれば、Vocollect電池を用いたVMT構成を採用することも可能です。この構成ではT5シリーズ端末を車両電源につなげる必要がありません。

Talkman A500/T5 VMTの配置

- 端末やあらゆる関連機器に対しては、最良の場所を決定してください。以前に同様の端末をインストールしていた場合には、それらが使用していた場所が端末に適しているかを確認します。
- 他の車両にインストールする前に、最低30分はそのインストールのテストを行ってください：すべての詳細を記録します：
 - その端末の場所で車両制御の妨げにならないかを確認します。
 - 端末がドライバの視線の邪魔にならないかを確認します。
 - ユーザーが長時間にわたり快適な作業をするために、その端末の場所が適しているかを確認します。

Talkman A500/T5 VMT用取り付けブラケットのインストール

Vocollectでは、Screw On Mountの取り付け用として次の部品を提供しています：

部品 #	個数	説明
1	2	Vehicle Mount、ホルダーベース ネジ留めアタッチメント
2	1	Vehicle Mount、アーム
3	1	Vehicle Mount、ホルダー

Vocollectでは、Clamp On Mountの取り付け用として次の部品を提供しています：

部品 #	個数	説明
1	1	Vehicle Mount、クランプ
2	1	Vehicle Mount、アーム
3	1	Vehicle Mount、ホルダー
4	1	Vehicle Mount、ホルダーベース ネジ留めアタッチメント

1. 車両へのベース固定に必要なネジ穴を開けます。クランプマウントを用いる場合は、このステップをスキップ可能です。
2. ベースをクランプまたはネジ留めにより固定します。

📌 注: クランプ取り付けネジのネジ山に潤滑剤（たとえば軽油または焼け付き防止剤など）を塗布します。

3. もう一方のベースをアームの反対側に取り付けた後、ロックレバーを時計回りに回すことで、目的の場所に固定します。
4. 端末ホルダーをベースにネジ留めします。
5. ホルダーに端末を挿入します。
6. 端末に電池アダプタを挿入します。
7. 電源からのケーブルを電池アダプタに取り付けます。

振動を防止するため、取り付けブラケットはベース部のボールの柄に触れないようにします。つまり、アームはこれらの部品が接触するほど傾けてはなりません。



電源へのケーブルの接続と車両への電源の取り付け

Vocollectでは、12ボルトまたは24ボルトの車両電源を端末に取り付けるために、次の部品を提供しています：

部品 #	個数	説明
1	1	電源、9-36 VDC入力
2	1	電源から電池アダプタへのケーブル

Vocollectでは、36ボルトまたは48ボルトの車両電源を端末に取り付けるために、次の部品を提供しています：

部品 #	個数	説明
1	1	電源、18-60 VDC入力
2	1	電源から電池アダプタへのケーブル

次の機器が必要です：

- 電源から車両電源までのケーブル x 1。Vocollectでは導線数 = 3、ケーブルゲージ = 16、温度 = -40C ~ 90Cの仕様を持つ工業規格ケーブルを推奨しています。
- 結束バンド

! 注意: 電気ケーブル配線の一般的ガイドライン

- 車両は完全にオフにし、車載バッテリーの接続は外しておきます。
- ケーブルは熱くなる可能性があるため、その表面をきれいな状態にしてください。
- 動く部品の影響を受ける場所にケーブルを這わせてはいけません。
- 車両の外側にケーブルを這わせてはいけません。
- ケーブルを90°以上曲げてはいけません。最小曲げ半径は1インチを下回ってはいけません。
- ケーブルの弛みを取り除くために、余分なケーブルは巻き取って車両内に納めてください。
- 安全性を最大限に保つため、ヒューズは可能な限り電源の近くに配置してください。
- T5 VMTを電力サージから守ると共に変圧を行うために、T5 VMTとフォークリフトの電池間には変換モジュールを納めます。

1. 車載バッテリーの接続を外します。
2. 電源最上部の4つのネジを取り外し、ネジ端子を露出させます。
3. 電源から車両電源への接続に使用するケーブルにおいて、3本のケーブルの銅線を5mmほど露出させます。電源から車両電源への接続には十分な長さのケーブルを確保してください。
4. 電池アダプタから電源への接続に使用する黄色のケーブルにおいて、黒と茶のケーブルの銅線を5mmほど露出させます。青いケーブルは必要ありません。黄色のケーブルから出たところで切断してもかまいません。電源から車両電源への接続には十分な長さのケーブルを確保してください。
5. 次の手順を用いて、電池アダプタから電源へのケーブル接続を行います。

- 電源上の接続先となる端子のネジを弛めます。
- 下記のチャートで示されるとおり、ケーブルを適切な個所に対応させます：

ケーブル	出力端子
茶 - 車両プラス	+
黒 - 車両マイナス	-
接続不要	GND
青 (短縮)	使用不可

- ネジを締めます。
- ケーブルの固定を確認します。

6. 次の手順を用いて、車両電源から電源へのケーブル接続を行います。

- 電源上の接続先となる端子のネジを弛めます。
- 下記のチャートで示されるとおり、ケーブルを適切な個所に対応させます：

ケーブル	入力端子
白 (ケーブルにより異なる可能性があります) - 車両プラス	+
黒 (ケーブルにより異なる可能性があります) - 車両マイナス	-
緑 - 車両のグラウンド: 電源装置のケースのグラウンド端子を接続するための機器の製造元の推奨事項に従ってください。	GND

- ネジを締めます。
- ケーブルの固定を確認します。

7. すべてのケーブルの実装に成功したら、結束バンドによりケーブルを固定します。



図 15 : 電源に接続されたケーブル

8. フォークリフトのダッシュボード下等、邪魔にならない安全な場所に電源を配置し、結束バンドで固定します。あるいは、取り付けスロットを用いて電源をボルト固定することも可能です。



図 16 : ダッシュボードの下にある安全な場所に取り付けられた電源

9. 電池アダプタと電源を接続するケーブルを、電源からT5 VMTを取り付ける場所まで這わせませます。
10. コネクタのナットをしっかりと締めてコネクタのナットをしっかりと締めて黄色の配線を電池アダプタに接続します。

Talkman A500/T5 VMTモバイル コンピュータと車載電源の接続

次の機器が必要です：

- Cooper Bussman社製ヒューズホルダ x 2個。Vocollectでは、Cooper Bussmann HFAシリーズのインライン防水型ヒューズの使用を推奨しています。
- ヒューズ x 2個。Vocollectでは、2A 250V SLO BLOヒューズを推奨しています。

- スペード コネクタ x 3個。
- 小さい結束バンド x 4個。
- 固定具

Voccollectでは、電源ソースに非連動型電源の選択を推奨しています。これにより、車両において意図しない電源のオフ状態が発生しても、Talkmanの連動した電源オフを回避できるだけでなく、ソフトウェア更新のためにTalkmanの電源を入れることが可能となります。

1. 車両からすべての電源を取り外します。
2. 電源の入力ケーブルより、余分な長さを除去します。
3. ケーブルの電源側にヒューズを接続します。そのケーブルから外側の絶縁表皮を4インチほど剥きます。
4. プラスおよびマイナスの配線から銅線を10mmほど露出させます
5. 露出した銅線をヒューズホルダに差し込み、所定のツールを用いて圧着します。
6. 緑色の配線を車両のグラウンドに接続します。
7. ヒューズの付いた白いケーブルを車両電源のプラス側に適切なコネクタを用いて接続します。このコネクタはケーブルへの圧着が必要となるかもしれません。
8. ヒューズの付いた黒いケーブルを車両電源のマイナス側に適切なコネクタを用いて接続します。このコネクタはケーブルへの圧着が必要となるかもしれません。
9. 下図のように電源を接続します。

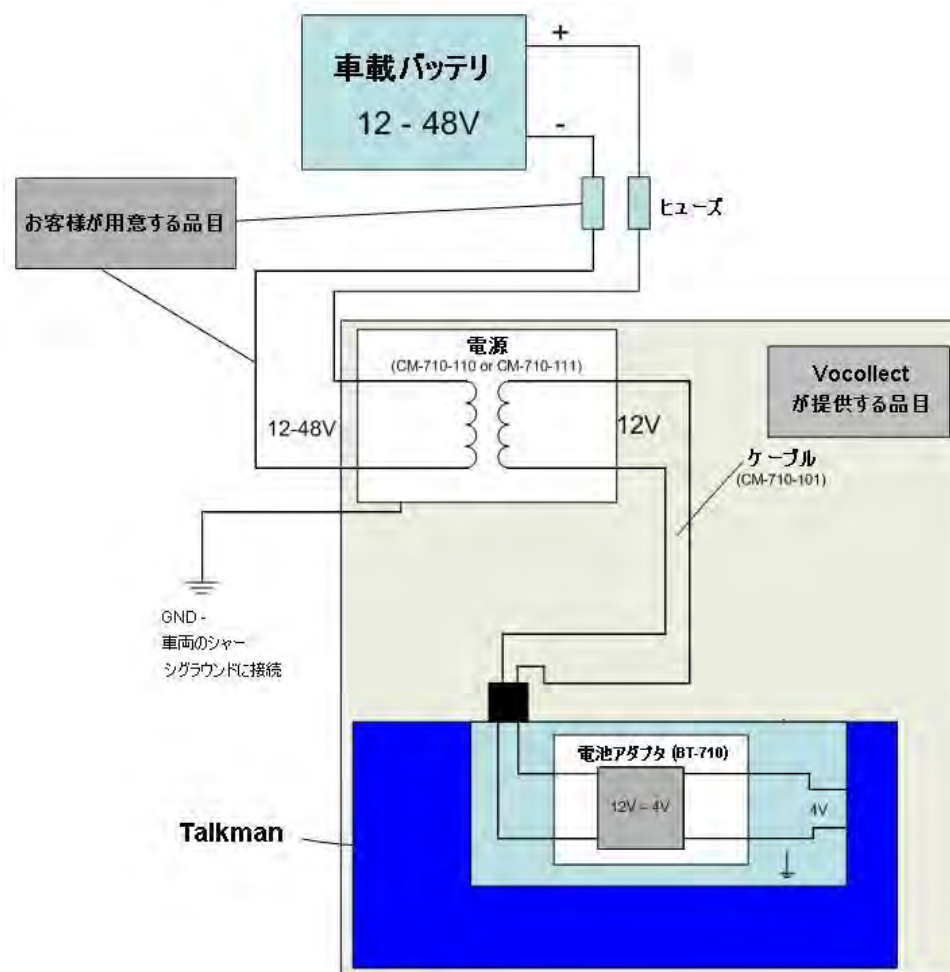


図 17 : 電源の接続

10. 結束バンドによりケーブルを固定します。

車両からのA500/T5 VMT端末の取り外し

Talkman A500/T5 VMTコンポーネントは、車両修理や保守、柔軟な運用のニーズに対応して、容易に取り外せるようになっています。

⚠ 注意: 時折、修理のために必要な場合を除き、電池アダプタからケーブル（CM-710-101、CM-710-102）を取り外すことはお勧めできません。頻繁にケーブルを取り外すと、アダプタとケーブルが損傷する可能性があります。この種の使用は、推奨できないことが明確な、意図していない方法による製品使用なので、保証によってもサービスプランによってもカバーされません。

1. 端末から電池アダプタを取り外します。
2. VMTホルダーの横に電池アダプタをドッキングします。

これにより、端末を取り外し、電池アダプタとケーブルをドッキングして保護できるようになります。

⚠ 注意: 電池アダプタは、ケーブルの損傷を防止し、アダプタの端子が誤って金属表面に接触するのを防ぐため、使用しないときもケーブルを接続し、ドッキングしておく必要があります。

VMT取り付けのベストプラクティス

Talkman端末およびアクセサリは *推奨通り* 使用された場合に信頼のおけるサービスを提供するよう設計されています。世界中の何千ものTalkman VMTユーザーがここで紹介するベストプラクティスに従い、車両に統合されたTalkman端末の生産性を向上しています。

- **Talkman** 端末をVMT構成から外さない

Talkman VMT端末は簡単に取り付けられるよう設計されています。しかし頻繁に取り外すよう設計されていません。

Vocollectでは、Talkman端末、ケーブル、VMT電池アダプタは車両に取り付け後、そのままにしておくことを推奨します。

Talkman端末を外さなければならない場合、電池アダプタは電池アダプタ ドックに残してください。



図 18 : VMT構成に取り付けられた電池アダプタ

⚠ 注意: Talkman、電池アダプタ、およびケーブルの頻繁な取り外しは、ケーブルまたは電池アダプタが早期に機械的故障を起こす原因となる恐れがあります。この損傷は通常の製品保証でカバーされません。

- **Talkman**端末を損傷から保護する

Talkman 端末は、作業員が簡単にTalkmanのコントロール機能にアクセスでき、車両使用中の衝突や損傷から十分に保護された位置に取り付ける必要があります。くぼみへの取り付けは保護の点からは優れていますが、この取り付け方によってTalkman端末の Wi-Fi または Bluetooth™接続が損なわれないよう注意してください。



図 19 : 車両により保護され無線受信に支障のない取り付け位置

- **RAM® Mounts**のオプションを考慮する


Talkman端末を取り付けるために用意されているVocollect部品は、RAM Mounts (www.rammount.com) が提供する取り付けオプションのほんの一部です。Vocollectが必要とする条件は、Talkman用車載ホルダー、BL-710-1を購入されることのみです。ベースにネジ止めするアタッチメント (BL-710-102) またはその他の1" ボールマウントを使用する部品を使用する場合、VMTの最適な取り付けを行うためにはRAM Mountsから購入可能な追加の部品が必要となる場合があります。



図 20 : BL-710-1車載ホルダーを使用したネジ止めによる取り付け

特に、以下の標準RAM Mounts部品によりさらなる取り付けの柔軟性が実現できます。

部品の説明	部品番号	用途	画像
ダブル1"ボールアダプタ	RAM-B-230U	このアダプタにより、車両上の保護された位置により正確にTalkman端末を設置し、操作することができます。	

部品の説明	部品番号	用途	画像
ダブルソケットアーム BボールAレンゲス	RAM-B-201U-A	このアームおよび他の長さのアームにより車両への最適なフィットを実現できます。	

- 通常の操作でずれが予想される場合には部品を固定する

Talkmanの取り付けに使用される部品は、固定位置に取り付け、簡単に調整できるように設計されています。稀に、日々の使用中に予期せぬ衝撃が加わることでこれら部品が次第にゆるむことがあります。特に取り付け部品の締めが甘かったり、作業員が手で位置を調整しようとした場合にこのようなケースが見られます。

この問題を防止するには、アームのユーザー調整可能なハンドルを取り外し、Vocollect VMTキット付属の1/4" #20ナイロンロックナットを取り付けてください。このロックナットは手で緩めることはできず、ほとんどの振動に耐えます。

- 確実なVMTの配線

Talkman VMTを接続するケーブルおよびワイヤは何かにつかかるとすることがないように車両にしっかりと取り付ける必要があります。ケーブルの絡まりは事故やVMTまたは車両への損傷につながる場合があります。

図に示すケーブルは、車両が動いている場合にもこの位置からずれて何かと絡まったりしません。ケーブルには十分なゆりみがあり、電池アダプタをTalkman端末に取り外したり取り付けたりできる点にも注意してください。



図 21 : ケーブルをしっかりと車両に接続

電池アダプタに接続する側のケーブルは、電池アダプタの取り外しや取り付けが簡単に行える十分な長さを確保しつつ、長すぎて絡まったりしないようにします。

ケーブルはアダプタの底部にある2つの穴を使って接続することができます。このようにケーブルを接続した後、VMT Talkmanアダプタ付属のスパイラルケーブルラップを使ってさらに保護します。



図 22 : ケーブルをしっかりと車両に接続

この取り付けを行うには：

- 約2.5インチのスパイラルラップ（外側直径0.25インチ）を黄色のケーブルに、その中点がケーブルエンドコネクタから9～10インチ離れた位置になるよう取り付けます。
- ケーブルタイ（最大幅0.1インチ）を使って、ケーブルの巻いてあるセクションを図のようにアダプタのドッキングエリアの底部の穴を使ってRAMクレードルに取り付けます。

車両内部から電池アダプタへのケーブルも、ケーブルのずれや予期せぬ損傷、ショートなどが起こらないよう安全に、整然と管理します。ケーブルは可動部品から離しておく必要があります。可動範囲が完全に保たれ、いかなる車両の操作もケーブルに物理的損傷をもたらさないようにします。

第 4 章

充電器

Vocollectでは、1つ以上の端末や電池の充電が可能な、電池およびウェアラブル コンピュータ用充電器を提供しています。

使用していないTalkman端末は充電器にセットしてください。充電器はホスト コンピュータへのリンクを提供し、新しい音声アプリケーションのダウンロード、端末の再設定、端末ソフトウェアの更新等が可能となります。この充電器では、端末に接続されている電池の充電も行います。

 注意:

- 充電器は、常に水や湿気から遠ざけてください。A500、T5シリーズ、あるいはT2シリーズの電池に結露等が確認された場合（たとえば冷凍庫のような低温環境で使用した後等）には、それらの電池を充電器にセットする前に、乾かすことを忘れないでください。
- 充電器では、Vocollectが承認する電池のみを充電してください。他の種類の電池の充電を試みてはいけません。


 注:

- 電池の付いていない端末を充電器にセットしてはいけません。また、充電器に端末がセットされている間に、端末から電池を外してはいけません。
- 充電器にセットされている端末は常にオンになります。電源がオフ状態にある端末を充電器にセットすると、端末が自動でオンになります。
- A700シリーズ、A500/T5、T1充電器は、挿入した状態でも端末から外した状態でも充電することができます。
- 充電器に対しては、サージ保護とアレスタ機能を備えた無停電電源等の保護デバイスと組み合わせて使用することを強く推奨します。

T5/A500 統合充電器



図 23 : T5/A500 10-ベイ統合充電器

- T5/A500 10-ベイ統合充電器は電池スロットが5個、端末スロットが5個のモデルです。本充電器では一度に5つの端末までを格納できます。
- また、一度に10個までの電池（充電器上部の電池スロットに電池を5つ、下部の端末スロットに電池付きの端末を5つ）を格納、充電できます。
- T5/A500統合充電器は充電を行うだけでなく、同時に充電中の端末間でその設定を共有することが可能です。
- T5/A500充電器用壁面マウントも用意されています。この製品には、充電器を取り付けることのできる壁面ブラケットが含まれています。
-  注: 8時間以上連続して端末を使用し、電源を切らずに充電器に入れると、端末の電源は自動的にオフになり、5分後に再びオンになります。また、端末が充電器に8時間以上置かれていた場合、端末は自動的に電源がオフになり、再度オンになります。


T5/A500 Single-Bay Combination Charger

- T5/A500 単一ベイ統合充電器は電池スロットが1個、端末スロットが1個のモデルです。この充電器には端末を1つずつ収納できます。また、一度に2個までの電池（充電器上部の電池スロットに電池を1つ、下部の端末スロットに電池付きの端末を1つ）を格納、充電できます。

簡単設定

簡単設定では、T5/A500充電器内にあるベイ間のシリアル接続を利用し、一つのT5/A500から充電器内の全端末に対して設定ファイルを分配します。この機能により、新規導入時におけるT5.A500の初期設定が迅速に行えるだけでなく、新しいT5/A500端末の追加や修理を行った端末をサービスに復帰させる作業が簡単になります。


サポートされているすべての端末モデル(T5、T5m、A500)は、この機能を使用して設定できます。充電器を使用して、異なるモデルの複数の端末を同時に設定できます。ただし、一部、端末の無線カードに固有の設定パラメータもあるので注意してください。このため1台の端末から、異なる無線機に接続された別の端末にパラメータを読み込むと、一部のパラメータが無効になることがあります。また端末が配信されたパラメータを受信しても、その特定の無線機が必要なパラメータの一部が取得できないことがあります。

 注: 簡単設定はDHCPサーバーとのみ使用できます。


統合充電器: 最初にサイト設定を行う

次に示すのは、最初にサイト設定を行う際（VoiceConsoleに端末がまったく接続されていない状態から）の手順です。

1. VoiceConsoleで端末プロファイルを作成します。
2. 端末詳細設定テキストボックスに、パラメータ"distributable"="1"を入力します。
値に"1"を設定することにより、この端末プロファイルは、T5/A500充電器内にあるベイ間でシリアル接続を用いて他のデバイスと共有可能なものとなります。このパラメータが存在しないか、あるいはその値にゼロが設定されている場合には、端末プロファイルは共有されません。
3. VoiceConsoleのオンラインヘルプ内にある手順にしたがって、端末プロファイルを完成させてください。

 注: 充電器の右下にあるAC電源インジケータは、簡単設定処理が行われている間、緑色と黄色の光を交互に点灯します。端末に対する個々のインジケータが緑色で点滅するか、あるいは充電器の電源インジケータが緑色の点灯に固定されるまでは、端末を取り外さないでください。


4. シリアルケーブルを用い、このプロファイルをT5/A500に読み込みます。

 注: 読み込み中の端末プロファイルが静的なIPアドレスを使用するように設定されている場合は、すべてのT5/A500端末に同じIPアドレスが割り当てられます。

簡単設定:T5/A500のさらなるオンライン設定

前提条件: 最初の1台の端末は、すでに簡単設定の初期セットアップおよびVoiceConsoleオンラインヘルプを使用して設定されています。以下は、追加の端末の設定に関する説明です。

1. 設定済みのT5/A500を充電器の送信ベイにセットします。充電器のベイを正面から見た場合、送信ベイは右側にある最初ベイとなります。送信ベイはオフホワイトのラッチにより特定できます。他のベイのラッチは濃い灰色です。
2. 新しいT5/A500や修理が行われたT5/A500を充電器の残りのベイにセットします。
 - 充電器の残りのベイに未設定のT5をセットします。未設定のT5に対するLEDインジケータは、端末がVoiceConsoleに到達できないことを判定するまで緑色で光り、判定したところでオレンジ色に変わります。端末はVoiceConsoleに接続できないことを判定すると、ファイルブロードキャストのリスニングを開始します。
 - 未設定のT5/A500に対するLEDインジケータは、ネットワークへの接続を試みている間、オレンジ色に光ります。
 - 端末が設定済みのT5/A500からプロファイルを受信し、その設定を検証すると、LEDインジケータが緑色で短く点灯します。
 - そのLEDインジケータは赤に変わり、端末のリポートが行われます。
 - 端末に設定ファイルが適用され、VoiceConsoleへのアクセスに成功すると、その端末に対するLEDインジケータは緑色の点滅に変わります。これで端末の使用準備が整いました。この端末を別の充電器で使用し、他の端末のオンライン設定を行うことも可能です。

 注: 充電器の右下にあるAC電源インジケータは、簡単設定処理が行われている間、緑色と黄色の光を交互に点灯します。端末に対する個々のインジケータが緑色で点滅するか、あるいは充電器の電源インジケータが緑色の点灯に固定されるまでは、端末を取り外さないでください。

T5/A500統合充電器に対する電源接続

1. 10-ベイ統合充電器内に取り付けられた電源アダプタの左端に同梱のACコードを接続します。
2. ルートプラスチッククリップを介して接続します。



図 24: プラスチック クリップを通し誘導されたケーブル

3. クリップを押し込み、コードをロックします。

T5/A500統合充電器用壁面マウント

T5/A500 10-ベイ統合充電器とその電源の壁面取り付けを容易にするためのユニットが提供されています。

- 組み立てが必要です。
- 壁面内に電線、水道等が存在する場合には、パイロット穴を開ける際、それらに損傷を与えないように注意してください。
- 本ユニットの導入は、お客様の責任において行ってください。
- 端末充電器同士を直接重ねることはできません。付属のホワイトボード部品をそれぞれの端末充電器上に配置することにより区切ってください。
- パイロット穴を壁のスタッドにドリルする際には、アンカーを使用しないで下さい。
- 各レール部品の一番下に位置するアンカーは、床から12インチ以上離してください。
- レール部品を取り付ける際は、電源コンセント等の位置に注意してください。完成したユニットでは、充電器の背面にあたる領域にアクセスすることはできません。

T5/A500充電器用壁面マウントのインストール

部品 #	個数	説明
1	1	取り付けブラケット
2	4	セルフドリリング ネジアンカー #10
3	4	平座金、#10、B並形
4	4	ネジ、#10、フィリップス型、なべ頭

次の機器が必要です：

- ドリル (1/8" ビット)

- ドライバ、#2 フィリップス (+)
 - 穴開け用テンプレート シート (付属)
1. 穴開け用テンプレートシートを用いて、アンカー用の4つの穴をマークします。2種類のパイロットマーカー（12"間隔の壁スタッド用、16"間隔の壁スタッド用）があることに注意してください。
テンプレート上にある下部のアンカー穴が12インチ以上床から離れていることを確認します。また、水準器を用いて、テンプレートの側面が垂直であることを確認します。
 2. アンカー用のパイロット穴を開けます。パイロット穴にアンカーをしっかりとネジ留めします。
 3. ブラケットを壁面に置き、その穴の位置をステップ2で固定したアンカーに合わせます。ブラケットの配置は、平坦な面が壁面に向き合い、取り付けピンが壁面から離れるように行います。
 4. ネジの1つに座金を取り付け、そのネジをブラケットの穴を介してアンカーに通します。
ブラケットを保持できる程度に、ネジを途中まで締めます。完全に締めてはいけません。この手順を他のネジと座金についても行います。
 5. 完全なネジ留めにより、ブラケットを固定します。
 6. 統合充電器を傾け、ブラケット最上部のタブと充電器の背面にあるノッチを揃えながら、壁面上をスライドさせます。
 7. ブラケット下部のサポートが充電器の下になるように、充電器を平らに戻します。

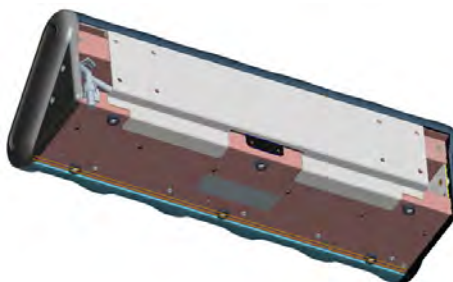


図 25 : 充電器の下のサポート


LEDインジケータについて

Vocollect Talkman端末とSRX/SRX2ヘッドセットおよびその充電器には、装置の状態を示すLEDがあります。これらのLEDはオン、オフまたは点滅します。一部のケースではLEDは2つの色を交互に点滅する場合があります。

問題があることをLEDが示した場合、トラブルシューティングの手順を参照して問題を解決してください。「LEDで示される問題のトラブルシューティング」も参照してください。

A500、T5およびT5m端末充電器のLEDインジケータ

インジケータの上部のペアは充電器の電池スロットに対応します。下部のペアは端末スロットに対応します。ここで説明されるLED状態は下部のペアに関するものです。

 注: 充電器に端末が存在しなかったり、充電器の端末に電池が装着されていないにも関わらず、これらの状態の1つが発生する場合には、充電器の電源接続を5秒間程度取り外し、再度接続してください。状態が変わらない場合には、充電器をサービス担当まで返却してください。

左側インジケータの色	右側インジケータの色	電池付きのデバイスが充電器にセットされている場合には...
オフ	オフ	トラブルシューティングが必要です。
緑	緑	電池の充電は完了し、いつでも利用可能です。
赤	オフ	電池は充電中です。
赤の点滅	オフ	充電器に電池が正しくセットされていない可能性があります。 充電器に電池を正しくセットした後も、LEDが赤の点滅を継続する場合には、充電器のトラブルシューティングが必要です。
オフ	黄	充電器に電池が正しくセットされていない可能性があります。 電池が熱すぎるか、あるいは冷たすぎる可能性があります。電池の温度が正常化するまで待ってください。

第5章

機器における各種問題のトラブルシューティング

LEDインジケータの変化やエラーメッセージ等が確認できない場合にも、トラブルのサインは見つけられるかもしれません。以降の説明の中から、確認できる現象を最も正確に表しているものを探してください。問題が解決するまで手順に従ってください。最初のオプションから始めて、次の手順に移る前に問題が解決されているかを確認します。一連の手順でも問題が解決できなかった場合には、Vocollectまで問い合わせを行い、修理に向けた返却の手続きやサポート担当者との話し合いを進めてください。

ヘッドセットから何も聞こえません

1. 端末の電池が完全に充電されていることを確認してください。
2. ヘッドセットと端末の接続が適切であることを確認してください。
3. 正常に動作している別端末を用い、そのヘッドセットを試してください。
4. 問題の確認された端末で別のヘッドセットを試してください。
5. 端末の電源を一旦オフにし、再度オンにしてください。
6. 端末をリブートしてください。
7. SRXヘッドセットを使用している場合には、ヘッドセットと端末の組み合わせを確認してください。
8. ヘッドセットの故障である場合には、修理のためにVocollectまで返却してください。

バーコードリーダーがスキャンを行いません

1. バーコードリーダーと端末の接続が適切であることを確認してください。
2. 別のバーコードリーダーを試してください。
3. バーコードリーダー異なる端末に接続して試してください。
4. バーコードリーダーの故障である場合には、修理のためにVocollectまで返却してください。
5. 作業パッケージに適切なバーコード設定が含まれていることを検証してください。

端末から数秒毎にビープ音が発生します

1. 数分の間お待ちください。音声エンジンがホストと通信を行っているだけかもしれません。
2. 数分経ってもビープ音が止まらない場合は、管理者に問い合わせてください。
3. 管理者は、VoiceConsoleの端末ログを確認して、問題の診断を試みることができます。

端末が音声アプリケーションを読み込みません

1. 音声アプリケーションの読み込みを再度試みてください。手順については、VoiceConsoleのオンラインヘルプを参照してください。
2. 端末が充電器に適切にセットされていることを確認してください。
3. VoiceConsoleでメッセージを確認してください。
4. アクセスポイントの無線範囲内にいることを確認してください。
5. 端末のChangeTaskEnabledパラメータが1に設定されていることを確認してください。
6. 端末をリポートしてください。
7. 端末をデバッグモードにして、問題解決の手掛かりを探してください。

端末が作業員テンプレートを読み込まない

1. 作業員を正しく読み込んでいることを確認してください。
2. 作業員が音声テンプレートを作成しているか確認してください。
3. 無線の範囲内にいることを確認してください。
4. 端末をリポートしてください。

端末がボタン操作に反応しません

1. 端末の電池が完全に充電されていることを確認してください。
2. デバイスをリポートします。
3. 端末を修理のためにVocollectまで返却してください

端末がオンになりません

1. 電池が端末に適切にセットされていることを確認してください。
2. 端末の電池が完全に充電されていることを確認してください。
3. 端末を修理のためにVocollectまで返却してください

端末がオフになったままです

1. 電池を交換してください。
2. 電池が適切にセットされていることを確認してください。

3. 端末の電池挿入区画に損傷等が無いか確認してください。損傷が確認される場合には、修理のために Vocollectまで返却してください。
4. VoiceConsoleで端末特有のシリアル番号の付いたクラッシュ ダンプ ファイルを確認してください。

Talkman A500/T5電池充電器 - トラブルシューティング ガイド

このトピックではTalkman A500/T5電池充電器で発生する問題の一部と、それらの原因、および原因の確認方法について説明します。

発生しうる問題	試すべき手順	手順が機能しない場合
特定の充電器スロットでは、電池の装着されていない端末をセットしても電源が入らない。ただし、同じ充電器の他のスロットや別の充電器にセットすると電源が入る。	端末および充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合には、クリーニング手順を実施した後、再度試してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	充電器スロットを確認し、機械的な整合上の問題がないかを確認します。正面にある2つのプラスチック製ペグとポケットのエッジ間には余計な隙間があってははいけません。クレジットカード等が入ってしまうような隙間がある場合には、整合上の問題があるかもしれません。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	端末が問題のスロットに適切にセットされていることを確認します。端末が別の充電器スロットで充電されることを確認します。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
電池を電池用の充電ポケットにセットしても、充電器正面にあるLEDで充電の進行（オフから赤、最終的には緑に変わる）が表示されない。	充電器のACケーブルの両端がしっかりと接続されていることを確認してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	ACコンセントに電力が来ていることを確かめてください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	充電器の電源アダプタからのDC電源コードがしっかりと接続されていることを確認してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
電池を電池用の充電ポケットにセットしても、充電器正面にあるLEDで充電の進行が表示されない。電池を装着していない端末をスロットにセットすると、電源がオンになる。これは全スロットで発生する。	充電器の内部に問題があります。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。

発生しうる問題	試すべき手順	手順が機能しない場合
電池や電池を装着した端末を対応するスロットにセットすると、それらのスロットのLEDが直ちに赤く点滅する。	充電器スロットを確認し、機械的な整合上の問題がないかを確認します。正面にある2つのプラスチック製ペグとポケットのエッジ間には余計な隙間があってははいけません。クレジットカード等が入ってしまうような隙間がある場合には、整合上の問題があるかもしれません。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	本現象が極端に古くない特定の電池でのみ発生し、同等の古さの他の電池では発生しないことを確認してください。	該当する電池は検査のために Vocollect Authorized Repair Center まで送ってください。
	端末および充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合には、クリーニング手順を実施した後、再度試してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	本現象が極端に古い特定の電池でのみ発生していることを確認してください。	電池を廃棄します。
電池や端末をスロットにセットすると、電池充電器スロットのLEDが1.5秒から3秒の間、赤で点滅します。	端末および充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合には、クリーニング手順を実施した後、再度試してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
	電池が保証期間中である場合には、交換のために返却してください。	
	本現象が極端に古い特定の電池でのみ発生していることを確認してください。	電池を廃棄します。
電池や端末をスロットにセットすると、電池充電器スロットのLEDが3秒以上、赤で点滅します。	電池が保証期間中である場合には、交換のために返却してください。	
	本現象が極端に古い特定の電池でのみ発生していることを確認してください。	電池を廃棄します。
電池充電器スロットのすべての赤いLEDが点滅し、充電器の電源を入れなおした場合のみ点滅が停止する。	端末および充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合には、クリーニング手順を実施した後、再度試してください。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。

発生しうる問題	試すべき手順	手順が機能しない場合
	<p>充電器内のすべての端末を異なる端末セットと交換し、充電器の電源を入れなおしても、同じ現象が発生するかを確認します。</p> <p>問題が発生しなくなるまで、充電器から端末を1つずつ取り外しながら、テストします。最後に取り外した端末に問題があると予想されます。再度の端末を除くすべての端末を充電器に戻し、再度テストしてください。</p>	<p>端末に問題がある場合、その端末は修理のために返却してください。</p> <p>保証期間中の電池に問題がある場合、その電池は交換してください。</p> <p>保証期間を過ぎた電池に問題がある場合、その電池は廃棄してください。</p>
電池充電器の琥珀色のLEDすべてが循環パターンで点滅する。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。	充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。
電池を特定スロットにセットすると、該当するスロットのLEDが赤く点滅する。ただし、他の電池スロットで同じ問題は発生しない。	<p>電池充電器の該当スロット端子が正常なスロットの端子と変わらない状態にあることを確認します。電池はスロットにぴったりと合う必要があります。</p> <p>端末および充電器の端子が汚れていないことを確認します。汚れている場合には、クリーニング手順を実施した後、再度試してください。</p>	<p>充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。</p> <p>充電器の交換または修理を行ってください。この問題はお客様自身で解決することはできません。</p>
5-ベイ充電器の電源LEDが常に緑にならず、琥珀色に点滅する。	<p>マスター（灰色のタブの）スロット端末に対して、"DISTRIBUTABLE"パラメータに"1"が設定されていることを示す通常の動作です。</p> <p>マスタースロットにある端末のシリアルポートでデータ通信が発生しています。これにより端末設定が他の端末に分配され、新しい端末へのVoiceConsoleを介したアクセスが、シリアル設定なしで簡単に行えるようになります。</p>	

LEDで示される問題のトラブルシューティング

Vocollect Talkman端末と充電器およびSRXヘッドセットとその充電器には、装置の状態を示すLEDがあります。これらのLEDはオン、オフまたは点滅します。一部のケースではLEDは2つの色を交互に点滅する場合もあります。

問題があることをLEDが示した場合、トラブルシューティングの手順に従って問題を解決してください。


1. 電池および充電器の端子について、適切な接触を妨げるような汚れ等が存在しないか確認してください。
2. 必要に応じて、端子のクリーニングを行います。
 - a) 金属接点のクリーニングには、イソプロピルアルコール(イソプロパノール)を含ませた綿棒や柔らかい布を使用します。
 - b) アルコールで湿らせた綿棒や布で汚れや付着物を除去できない場合は、表面を傷つけない柔らかい消しゴムを使用します。また、豚毛を用いた3列歯ブラシ形の汎用クリーニングブラシを用いて、端子上の汚れを丁寧に除去する方法もあります。
 - c) イソプロピルアルコールを用い再度拭き取りを行います。
3. 電池と充電器のいくつかの組み合わせを試し、その問題が電池や充電器特有のものでないかを判定します。
 - 問題がその電池特有のものである場合は、システム管理者に該当する電池を預けてください。
 - 問題が充電器特有のものである場合は、該当する充電器の電源を5秒程度引き抜き、再度接続します。電池を用い充電器のテストを再度行い、同じ問題が発生するようであれば、充電器をサービス担当まで返却してください。

エラーメッセージについて

エラーメッセージは次の2つのタイプのいずれかです：

番号付きメッセージはVoiceConsoleにエラーの数値として表示され、テキストメッセージが表示されます。番号付きエラーメッセージがVoiceConsoleに表示された際には、番号付きエラーメッセージのトピックを参照してください：

音声メッセージはヘッドセットから聞こえます。エラーメッセージがヘッドセットから聞こえた際には、音声メッセージのトピックを参照してください。

 **注:** VoiceConsoleに表示される番号付きエラーメッセージのすべてに、対応する音声メッセージがあるとは限りません。

番号付きエラー メッセージ

番号	テキスト	解決法
0x020a	イベント コントロールの初期化ができませんでした。	1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。

番号	テキスト	解決法
		<ol style="list-style-type: none"> 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x0203	イベント コントロールが共有データ モジュールを作成できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x0206	電池が少なくなっています。	バッテリーを変更してください。
0x0207	電池が少なくなっています。電池をすぐに交換してください。	バッテリーを変更してください。
0x0208	電池がほとんど残っていません。パワーオフ。電池を切ってから必ず電池を交換してください。	バッテリーを変更してください。
0x020a	イベント検出の初期化が失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x0602	雑音のサンプル処理が失敗しました。	
0x0603	雑音のサンプル処理がタイムアウトしました。	
0x0605	作業員ファイル名が間違っています。	
0x060c	トレーニング処理がUpdTrainに対して無効なステータスを返しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x060e	単語のトレーニングができません。フラッシュメモリが不十分です。	
0x0802	発話の問題で初期化に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x0804	スピーチアウトが失敗しました。オーディオシステムの失敗です。	<ol style="list-style-type: none"> 1. crashdumpファイルをチェックしてください。詳細は、VoiceConsoleオンラインヘルプを参照してください。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。

番号	テキスト	解決法
		4. リロードVoiceClient。
0x1201	電源を切るダイアログに失敗しました。	1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1202	作業が読み込まれていません。作業名がありません。	
0x1203	OperLoad処理の失敗です--TmplSendがビジー状態です。	
0x1204	作業員の読み込みに失敗しました。	
0x1205	作業員データが壊れています。	
0x1206	雑音のサンプル処理に失敗しました。	
0x1207	チーム内に作業員が存在しません。	
0x1208	作業員ファイルが取得できません。	
0x1209	作業員の読み込み中に内部エラーが発生しました。	
0x120a	作業の読み込みに失敗しました。	
0x120b	セルフテストモードが設定されていますが、スクリプトファイルが見つかりません。	
0x120c	作業リストファイルが見つかりません。作業は変更されませんでした。	
0x120d	作業の変更処理中にソフトウェアエラーが発生しました。作業は変更されませんでした。	
0x120e	検索テーブルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1210	端末エミュレーション設定ファイルの読み込みに失敗しました作業の読み込みに失敗しました。	
0x1211	端末エミュレーション設定ファイルが壊れています。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1212	作業ファイルが壊れています。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1213	作業VCFファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1214	ODR NTI登録ファイルの書き込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。	

番号	テキスト	解決法
0x1215	作業または作業員の読み込み後に、端末充電器内のダイアログ端末オフファイルの書き込みに失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業員の読み込みを再度行ってください。 2. リロードタスクを実行します。 3. リロードVoiceClient。
0x1216	発音の再トレーニングは失敗しました。もう一度処理を行ってください。	
0x1217	作業員の初期化に失敗しました。作業員の読み込みを再度行ってください。	
0x1218	発音定義ファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1219	作業オーディオファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。	
0x1402	コミュニケーションエラー。PMS受信でエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1403	コミュニケーションエラー。PMS送信でエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1406	コミュニケーションエラー。PMSのGetIdFromName処理でエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x140a	コミュニケーションエラー。Vocollect設定ファイルを閉じることができません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x140f	コミュニケーションエラー。Vocollect設定ファイルを削除することができません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1410	コミュニケーションエラー。Vocollectネットワーク転送情報登録に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。

番号	テキスト	解決法
0x1411	コミュニケーションエラー。認識できないPMSメッセージです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1414	通信エラー。バーコード処理ができませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1415	コミュニケーションエラー：シリアル処理ができませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1417	コミュニケーションエラー：認識できないFTPコマンドです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x141b	コミュニケーションエラー：認識できないソケットコマンドです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1420	エラー：バーコードポートが初期化できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1421	認識できない表示モード基幹システム名あるいはIPアドレス	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1422	認識できない表示モードサービス名あるいはポート	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。

番号	テキスト	解決法
0x1423	エラー：デバッグ/トレーニングCOMポートが初期化できませんでした	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1425	認識できないソケット基幹システム名あるいはIPアドレス	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。 4. リロードタスクを実行します。 5. 作業の出力データレコード（ODR）およびルックアップテーブル（LUT）が正しいこと、ソケット基幹システムおよびサービス情報が有効であることを確認してください。サポートが必要な場合、Vocollectにお問い合わせください。
0x1426	認識できないソケットサービス名あるいはポート	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。 4. リロードタスクを実行します。 5. 作業の出力データレコード（ODR）およびルックアップテーブル（LUT）が正しいこと、ソケット基幹システムおよびサービス情報が有効であることを確認してください。サポートが必要な場合、Vocollectにお問い合わせください。
0x1427	ソケット経由でのファイル送信エラーか、ファイルを開くことができません	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x142a	無効な端末マネージャサービス名またはポートです。	
0x142c	Telnet セッション マネージャを開始することができません。	
0x142d	Telnet クライアント処理を開始することができません。	
0x142e	Telnet VT220 エミュレーション処理を開始することができません。	

番号	テキスト	解決法
0x142f	Telnetでのデータ ファイル送信・オープン処理ができませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x142f	Telnetでのデータ ファイル送信・オープン処理ができませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1430	エラー：プリンタ ポートが初期化できませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1431	ラベルの印刷エラーか、ファイルを開くことができません	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1432	プリンタ エラー：PMS発信でエラーが発生しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1433	コミュニケーション エラー：印刷処理ができませんでした。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1600	FM初期化失敗。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1601	FM PMS受信失敗。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1602	警告です。フラッシュメモリの残量が少なくなっています。	

番号	テキスト	解決法
0x1603	警告です。フラッシュメモリの残量が少なくなっています。収集したデータをすぐにアップロードしてください。	
0x1a01	プロセス履歴データの初期化に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1a02	プロセス履歴データ処理メッセージサービス受信に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1a03	プロセス履歴データ処理メッセージサービス再試行に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1a04	プロセス履歴データファイル記述子構成エラーです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. リロードタスクを実行します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
0x1a05	プロセス履歴データロックアップテーブル構成エラーです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. リロードタスクを実行します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
0x1a06	プロセス履歴データのビンからレコードへの書き込みエラーです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1a09	プロセス履歴データ電源オフエラーです。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. リロードタスクを実行します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。


番号	テキスト	解決法
0x1a0b	プロセス履歴データ処理メッセージサービス初期化データファイル記述子が失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1e01	ビデオ端末エミュレーション初期化に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x1e02	ビデオ端末エミュレーション処理メッセージサービス受信に失敗しました。	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
0x2100	FLASH処理で、フラッシュ端末の仮想割り当てに失敗しました。	
0x2101	FLASH処理で、ファイルシステムの端末初期化に失敗しました。	
0x2102	FLASH処理で、フラッシュ端末の仮想コピーに失敗しました。	
0x2104	ブロック取り消しの引数が不正なためFLASH処理が失敗しました。	
0x2105	FLASHライブラリが取り消し処理中に失敗しました。	
0x2106	フラッシュ書き込みポインタの引数が不正なためFLASH処理が失敗しました。	
0x2107	FLASHライブラリが取り消し処理中に失敗しました。	
0x2108	フラッシュ読み込みポインタの引数が不正なためFLASH処理が失敗しました。	
0x2109	FLASHライブラリが読み込み処理中に失敗しました。	
0x210a	ファイル削除中にFLASHライブラリが失敗しました。	
0x210b	ファイル検索中にFLASHライブラリが失敗しました。	
0x210c	FLASH処理で、指定したファイルをRAM上で開くことができませんでした。	

番号	テキスト	解決法
0x210d	FLASH処理で、指定したファイルをRAMから読み込むことができませんでした。	
0x210e	FLASH処理で、指定したファイルをRAM上に書き込むことができませんでした。	
0x210f	ファイルを開いている際にFLASHライブラリが失敗しました。	
0x2110	ファイルを閉じている際にFLASHライブラリが失敗しました。	
0x2111	FLASHに不正なリンク リストがあります。	
0x2112	FLASHの残量がありません。Talkmanの電源が切れるまで待ってください。	
0x2115	FLASHライブラリの失敗。スペースが足りません。	
0x2116	FLASHライブラリが再呼び出し処理中に失敗しました。	

音声エラー メッセージ

エラー メッセージ	解決法
"電池がほとんど残っていません。電源を切っています。完全に電源が切れてから電池を交換してください。"	バッテリーを変更してください。
"電池が少なくなっています。"	
"電池が少なくなっています。電池をすぐに交換してください。"	
"テンプレートの送信中に作業員を読み込むことができませんでした。"	すべてのテンプレートが読み込まれるのを待ってから、作業員を読み込みます。
"作業を読み込むことができませんでした。データを処理しています。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. リロードタスクを実行します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"作業ファイルが壊れています。作業の読み込みに失敗しました。"	
"端末エミュレーション設定ファイルが壊れています。作業の読み込みに失敗しました。"	
"作業員データが壊れています。"	リロード演算子です。
"検索テーブルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。

エラー メッセージ	解決法
"作業オーディオファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. リロードタスクを実行します。 4. デバイスをリブートします。 5. リロードVoiceClient。
"作業発音ファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。"	
"作業VCFファイルの読み込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。"	
"端末エミュレーション設定ファイルの読み込みに失敗しました 作業の読み込みに失敗しました。"	
"ODR NTI登録ファイルの書き込みに失敗しました。作業の読み込みに失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. リロードタスクを実行します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"作業の変更処理中にファームウェアエラーが発生しました。作業は変更されませんでした。"	
"フラッシュメモリーエラー"	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
"フラッシュメモリが満杯です。Talkmanの電源が切れるまで待ってください。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"ヘッドセットの電池が少なくなっています。"	バッテリーを変更してください。
"ヘッドセットの電池が少なくなっています。ヘッドセットの電池をすぐに交換してください。"	
"作業員の初期化に失敗しました。作業員の読み込みを再度行ってください。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. リロード演算子です。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"内部エラー：作業員の読み込み。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。

エラー メッセージ	解決法
"作業員ファイル名が間違っています。"	作業員を再度選択するか、別の作業員を読み込みます。
"無効な端末マネージャ基幹システム名またはアドレスです。"	
"無効な端末マネージャサービス名またはポートです。"	
"作業リストファイルが見つかりません。作業は変更されませんでした。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. リロードタスクを実行します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"雑音のサンプル処理が失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雑音のサンプリングを再度行ってください。 2. 静かな場所に移動して、雑音サンプルを再度入力します。 3. 別のヘッドセットを使用して、雑音のサンプリングを行います。 <p> 注: これで問題が解決されるようであれば、最初に使ったヘッドセットは壊れています。</p>
"雑音のサンプル処理がタイムアウトしました。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 雑音のサンプリングを再度行ってください。 2. デバイスをリブートします。
"作業員の読み込みに失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"電源切断エラー"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源をオンにしてください。 2. デバイスをリブートします。
"セルフテストモードが設定されていますが、スクリプトファイルが見つかりません。"	作業設定ファイル、(作業名) .vcf を編集し、selftest=1 の行を selftest=0 に変更します。
"作業の変更処理中にソフトウェアエラーが発生しました。作業は変更されませんでした。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。
"作業の読み込みに失敗しました。"	<ol style="list-style-type: none"> 3. リロードタスクを実行します。 4. デバイスをリブートします。

エラー メッセージ	解決法
	5. リロードVoiceClient。
"作業は読み込まれませんでした。作業名がありません。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. リロードタスクを実行します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"Telnetクライアント処理を開始することができませんでした。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 2. デバイスをリブートします。 3. リロードVoiceClient。
"Telnetセッションマネージャーを開始することができません。"	
"Telnet VT220 エミュレーション処理を開始することができませんでした。"	
"入力データを受信することができませんでした。"	
"作業員ファイルが取得できません。"	
"出力データを送信することができませんでした。"	
"単語のトレーニングができません。フラッシュメモリが不十分です。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 端末が休止状態になるまで待ちます。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。
"警告です。フラッシュメモリの残量が少なくなっています。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。 5. 端末をできるだけ早く充電器にセットしてください。
"警告です。フラッシュメモリの残量が少なくなっています。収集したデータをすぐにアップロードしてください。"	<ol style="list-style-type: none"> 1. 既知の良好なカバレッジの領域に移動します。 2. オフにデバイスをオンにして、もう一度電源を入れ直します。 3. デバイスをリブートします。 4. リロードVoiceClient。 5. 端末をできるだけ早く充電器にセットしてください。

テクニカル サポートへのコンタクト

このセクションではテクニカル サポートに問い合わせを行う際に必要となる各種の情報と、関連するファイルのまとめ方について説明します。

ほとんどのサポートリクエストで必要となる一般的情報

端末タイプ	Vocollect Talkmanモデル
	Talkman以外の端末メーカー/モデル
	Vocollectヘッドセット モデル
	他のヘッドセット
	バーコードリーダーのタイプ
Vocollect Voiceソフトウェア	VoiceConsoleに表示されるVoiceClientのバージョン
	VoiceConsoleに表示されるVoiceCatalystのバージョン
Vocollect VoiceConsole	VoiceConsoleのバージョン
端末ログ	<p>端末ログの記録は行いましたか？</p> <p>技術サポートセンターにこれらのファイルを送付できるよう準備をしておいてください。</p>

サポートに問い合わせを行う際に答えを用意しておくべき項目

- 同じ問題／質問について以前サービスリクエストを送ったことがある場合、未解決に終わりましたか？
- 影響されるユーザー数は？
- この問題の発生する頻度は？
- 現在の回避策は？
- この問題が最初に発生したのはいつですか？
- この問題は御社の業務にどのように影響していますか？
- 環境に関して何かが変わったということがありますか？

VoiceConsoleにおける端末ログの有効化

1. **VoiceConsole** > 端末管理 > 端末を選択します。
2. ログを有効にしたい端末の名前をクリックします。
端末に対するプロパティ ウィンドウが表示されます。
3. 端末のログ処理を有効にします。使用している**VoiceConsole**バージョンによって次を行います：

VoiceConsole 2.x	ログ記録セクションの有効チェックボックスを選択します。
------------------	-----------------------------

VoiceConsole 3.x以降	<p>選択した端末の編集リンクをクリックします。</p> <p>[端末編集] ページの [ログ記録] セクションで、ログを記録するドロップダウンリストから有効を選択します。</p>
--------------------	--

4. ログ ファイルの内容は、端末設定ウィンドウからエクスポートすることが可能です。
5. ファイルを保存し、他の関連情報と共に、テクニカルサポートまで送付してください。

修理のための機器返却について

! 重要:

- Vocollectへの修理を目的とした機器の返却は、Vocollectから直接購入した機器のみが対象となります。
- Vocollectの代理店から購入したVocollect機器（SRシリーズのヘッドセット等）については、代理店まで問い合わせてください。
- ハンドヘルド端末でVocollect VoiceClientを使用している場合の、端末に関する問題や質問については、代理店または端末メーカーまで問い合わせてください。

- !** 注目: 発送時にはイヤークリップ、取り付けディスク、およびコードクリップを取り外してください。これらの消耗部品は修理の妨げとなります。また、修理後の返却ユニットには、これらの消耗部品は含まれません。

Vocollectでは、返却理由に関わらず、すべての返却に対してRMAを発行します。これにより機器の適切な追跡と取り扱いが保証され、迅速な返却が実現できます。

一般的な顧客サービス部門ではRMAの発行を、修理のために製品を返却する顧客に対して実施します。しかしながら、Vocollectでは次のような他の理由に対しても、RMAを発行します：

- Vocollectに帰属する製品。Vocollectは、顧客に対して製品を貸し出したり、サンプルとして提供する場合があります。
- Vocollectによる、テスト等を目的とした、顧客への製品返却要求。
- 顧客サイトにて、Vocollectの従業員が何らかの理由により決定した、Vocollectへの製品返却。
- 交換（誤った製品が出荷された場合や異なるサイズのベルトが注文された場合等）。

Vocollect製品の修理について、修理業者とのサービス契約を結んでいるユーザーもいます。このようなサービス契約を結んでいる場合には、該当する修理業者に問い合わせ、機器を返却してください。RMAの発行手順を順守することで、不必要な修理コストが削減されると共に、迅速な製品の受け入れが保証されます。RMAプロセスに関する質問は、顧客サービスまで問い合わせてください。

Vocollectに返却する部品の梱包

! 注: RMA部品の適切な梱包は、Vocollect製品の容易かつ迅速な修理や返却につながります。これを実現するために、次の様な指針へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1. 梱包は、部品同士が直接触れ合ったり、部品が輸送容器の側面、底面、あるいは上面等に直に接触することがないように行ってください。
2. 輸送容器には下敷き（できれば静電防止用バブルパック）を最低1枚は敷いてください。

3. それぞれの部品は、できれば静電防止用のバブルバッグや包装材を用いて、個別のバッグ詰めや包装を行ってください。
 - 個別包装が不可能な場合には、輸送容器の底に静電防止用バブルパック等の梱包材を適量敷き、それらの層の間に部品を詰めてください。
 - 梱包材にピーナッツ型緩衝材のみを使用することは避けてください。ピーナッツ型緩衝材だけでは、部品同士の接触や輸送容器の壁面との接触から部品を守ることができません。ピーナッツ型緩衝材は、輸送容器内や静電防止用バブルバッグ等で個別に包装された部品上の空き空間を埋める際に有効です。

修理のための機器返却：RMA（Return Material Authorization）手順

1. 次の情報を含む電子メールをvocollect-rma@vocollect.comまで送信してください：
 - 担当者名
 - 会社名
 - 会社住所
 - 電話番号
 - FAX番号
2. 同様に、返却される部品に関し、次の情報を提供してください：
 - 個数
 - 製品名
 - シリアル番号
 - 使用中のサイトにインストールされているソフトウェアのバージョン番号
 - 問題の説明または返却理由
 - 該当製品が保証、ESP（Extended Service Plan）、またはDepot Expressの対称であるか否か
 - ESPまたはDepot Expressの対象となっていない部品の場合には、購入注文番号
3. Vocollect宛てに品物を送付する場合は、RMA番号を明記してください。
4. 機器は、梱包方法の説明に従って梱包してください。
5. 送付先の住所は次のとおりです。 Vocollect, Inc. 4250 Old William Penn Highway Monroeville, PA 15146-1622 RMA

VMT構成のトラブルシューティング

ここでは、車両の電源システムから電源を供給されているVMT（車載型Talkman）で、問題の原因を特定する手順を示します。次の手順は、最小限のVocollectテクニカルサポートだけで、VMTが稼働しない原因を特定する方法です。

- 車載バッテリーが充電され、動作していることを確認します。車両を始動させ、車両の動作が開始することを確認します。車両が始動しない場合は、資格のある技術者による車両の修理が必要です。
- 車両のキー スイッチをオンにした後にVMTを設置した場合は、車両の始動時にVMTに電源が投入されることを確認します。VMTは、可能な限り車両のキー スイッチをオンにする前にインストールしてください。これにより、車載バッテリーが搭載されていれば、VMTに常に電源が供給されます。

- 別のTalkman端末が利用できる場合は、稼働しないTalkmanと交換します。交換したTalkmanも稼働しない場合、おそらくVMTの電源システムに問題があります。逆に、交換したTalkmanが稼働する場合、元の端末を修理する必要があると考えられます。
- 稼働しないVMTの電池アダプタを、稼働が確認されている電池アダプタと交換します。VMTが新しい電池アダプタで稼働する場合、元の電池アダプタを交換する必要があると考えられます。

次の手順では、資格を持つVocollectテクニカルサポート担当者によって、VMTが稼働しない原因を特定する必要があります。

VMTが使用する電源装置にアクセスします（多くの場合、車両内部に設置されています）。電源のふたを留めている4本のネジを外し、入出力配線を露出させます（下図参照）。



- 入力端子をテストして、電圧が供給されていること、またその電圧が車両電源システムの電圧と一致していることを確認します。
 - 供給されている電圧が車両電源システムの電圧と一致しない場合、車両電源システムから正しい電圧が提供されていない理由を専門家が説明する必要があります。
 - 電圧が供給されていない場合、入力ケーブルのヒューズを確認し、ヒューズが飛んでいれば交換します。ヒューズを交換してもすぐに飛んでしまう場合は、VMTの電源への入力ケーブルがショートしていないかを確認します。ショートしていない場合、VMTの電源に問題があると考えられます。
 - 電源が供給されず、ヒューズが飛んでいない場合は、入力ケーブルが切れていないかを確認します。切れている場合は、ケーブルを交換します。切れていない場合、車両の電源システムに問題があると考えられ、専門家の対応が必要になります。
- 入力電圧が電源に供給されている場合、出力電圧を確認します。
 - 入力電圧は存在するが出力電圧が存在しない場合、または出力電圧が13.2V DCでない場合、電源の交換が必要だと考えられます。
 - 出力電圧が13.2V DCレンジにある場合、電池アダプタへのケーブルまたは電池アダプタそのものに問題があると考えられます。稼働確認済みの電池アダプタと交換して動作を確認してください。交換しても動作しない場合は、電源と電池アダプタ間のケーブルを交換する必要があると考えられます。
- 電池アダプタをテストするには、アダプタの出力を確認します。問題の原因が、電源にあるのか電池アダプタのケーブルにあるのかを特定するには、故障が疑われる電池アダプタをテストする前に、稼働確認済みの電池アダプタをまずテストします。稼働する電池アダプタの2つの最外点は、約3.9~4.2V DCである必要があります（下図参照）。




付録 A

仕様

T5シリーズ仕様：Talkman T5、Talkman T5m

重量	6.50 オンス (184.27 g) 標準電池を含む: 11.20 オンス (317.51 g)
長さ	5.5" (13.97 cm)
幅	2.63" (6.68 cm)
奥行き	1.7" (4.3 cm)
I/Oポート	<ul style="list-style-type: none">ヘッドセット ポート(黄色)音声出力およびRS-232シリアル対応のメンテナンス ポート
動作温度	-22°~122° F (-30°~ 50° C)
保管温度	-30°~140° F (-34°~ 60° C)
落下テスト済み	MIL STD -810Fの衝撃および振動仕様に適合。 さらに端末では、次の仕様に基づいて試験が実施されました： <ul style="list-style-type: none">磨かれたコンクリート上に5フィートの高さから25回落下後、さらに6フィートの高さから10回落下磨かれたコンクリート上に-20° F (-29° C) で5フィートの高さから角度を変えて10回落下
湿度	100%結露
保護等級	IP67

 注: パッケージは製品の出荷条件により異なります。一般に、梱包材料は総出荷重量の約15%です。

A500/T5高性能電池仕様

A500およびT5-シリーズ端末は標準電池を使用します。

標準電池重量	4.7 オンス (133.24 g)
--------	--------------------

電氣的仕様

- セル：この大容量電池パックでは、2つのリチウム イオン セルを使用しています。
 - 公称電圧 = 3.7V
 - ワット時 = 19Whr
- 保護回路特性：この電池パックには、セルにおける低電圧状態と過電圧状態を回避し、プラス端子とマイナス端子の短絡により生じる損傷から電池パックを守るための、保護回路は備わっています。
- 本電池パックには性能、温度、およびパック識別情報を端末に提供するための専用の電子回路が含まれています。これらの情報は、音声管理ソフトウェアにより利用できます。
- 電池の充電：本電池パックの充電はVocollect製の充電器でのみ行う必要があります。

機械的仕様と環境仕様

- 落下テスト仕様：この大容量電池は、MIL STD 810Fの衝撃およびトランジェント落下基準に適合しています。
- 環境仕様：本電池パックは、水やホコリから内部を守るために、超音波溶接により結合されています。この電池は次の条件下で適切に動作します：

温度：-40°C～55°C (-40°F～131°F) 湿度：95% 非結露 雨/ホコリ：IP67


電池に関する通知

Talkman電池に対する通知は次のレベルで発生します：

- 最初の警告 = 3,550 mV
- 重要警告 = 3,350 mV

T5/A500 10-ベイ統合充電器仕様

長さ	21.21" (53.9 cm)
奥行き	6.64" (16.9 cm)
壁面ブラケット付きの奥行	6.89" (17.5 cm)
高さ	6.12" (15.5 cm)
電源	入力電圧：100-250 Vac 入力電流：最大 2.4 A ライン周波数：50-60 Hz
コード：	IEC 60320標準プラグを使用
動作温度	50°～113° F (10°～ 45° C)
保管温度	-22°～158° F (-30°～ 70° C)
湿度	90%の非結露まで機能

 注: パッケージは製品の出荷条件により異なります。一般に、梱包材料は総出荷重量の約15%です。

T5/A500統合充電器電源仕様

10-ベイ統合充電器電源	
入力:	入力電圧: 100-250 Vac 入力電流: 最大 2.4 A ライン周波数: 50-60 Hz
出力:	出力: 97.5 W (15 V x 6.5 A)
コード (米国、メキシコ、カナダ):	ULおよびCSA認証済み 導線3本 (18 AWG) 定格125V、15Aの成形プラグ キャップにより終端 最小長6フィート
コード (他の国々):	国際整合化と<HAR>マークの付加 最小0.75mmの導線3本 定格300V、PVC絶縁ジャケット 定格250V 10Aのプラグ キャップに装着 最小長6フィート
単一ベイ統合充電器電源	
入力:	入力電圧: 100-240 Vac 入力電流: 最大 0.6 A ライン周波数: 50-60 Hz

Talkman A500/T5 VMT アクセサリ仕様

動作温度	-30°~50° C (-22°~122° F)
保管温度	-40°~70° C (-40°~158° F)

付録 B

アクセサリ

Vocollectでは、Talkman端末やその他のハンドヘルド端末の装着、保護、および操作の支援を目的とした様々なアクセサリを提供しています。

T5/A500アジャスタブル ショルダー ハーネス

米政府の安全基準を遵守するには、端末を使用する際、Vocollectのベルトおよびクリップ、Vocollectのカスタマイズされたベルトやショルダー ハーネスを共に使用する必要があります。

T5/A500ショルダー ハーネスへの端末装着

専用のベルトやショルダー ハーネスに端末を取り付けるには、ベルトやハーネスと共に提供されるスリムベルト クリップが必要です。

このクリップは、シフトの最初からベルトに取り付けておく必要があります。これにより、作業員はクリップに対する端末の脱着を必要に応じて行うことが可能になります。



図 26 : T5/A500ショルダー ハーネスの適切な装着 - 正面から見たところ, 後ろから見たところ

1. ショルダー ハーネス正面にあるフラップを2つのボタンのスナップを解除することにより開きます。
2. ベルトクリップのスロットにフラップを通します。クリップにフラップを完全に通し、ボタンをスナップします。
3. 大きい輪のバックルを解除します。
4. 左手を小さい輪に通し、ハーネスを左肩の上までスライドさせます。
5. 大きい輪のバックルを旨の前で留めます。
6. ストラップを調整します。
7. 端末をハーネスのクリップ上に適切な位置でスナップされるまでスライドすることにより、固定します。適切な位置にクリップ留めされた端末は、クリップ取り外しボタンを押さない限り、取り外すことはできません。

T5/A500アジャスタブル ショルダー ハーネス仕様

ショルダーストラップ	2" (5 cm) 幅の調整可能ナイロン
チェストストラップ (レギュラー)	2つの調整可能弾性ナイロン (32"~48" (81 cm~122 cm))
チェストストラップ (ラージ)	2つの調整可能弾性ナイロン (41"~66" (104 cm~167 cm))

ベルトとベルトクリップ

作業員はVocollectで販売する専用ベルトに端末を装着します。ベルトへの端末取り付けは、専用のクリップを用いて行います。米政府の安全基準を遵守するには、端末はVocollectのベルトおよびクリップと共に使用しなくてはなりません。



図 27 : クリップ付きベルト

ベルトおよびクリップの使用

専用のベルトやショルダーハーネスに端末を取り付けるには、ベルトやハーネスと共に提供されるスリムベルトクリップが必要です。

- T5/A500ブラックベルトクリップ：T5またはA500端末をベルトに装着します。
- このクリップは、シフトの最初からベルトに取り付けておく必要があります。これにより、作業員はクリップに対する端末の脱着を必要に応じて行うことが可能になります。

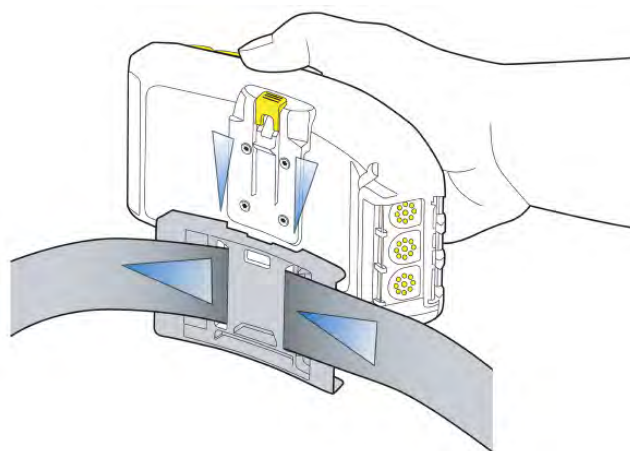


図 28 : ベルト クリップへの端末取り付け

- Vocollectでは、端末を体の右側に装着し、そのボタンを上に向けた状態で、コネクタを背中に向けて這わすことを強く推奨しています。
- ベルトやショルダー ハーネスには、A500やT5シリーズの端末が装着できます。

Tシリーズのベルト仕様

Tシリーズのベルト サイズ

サイズ	寸法
XS	18" - 26" (46cm-66cm)
S	24" - 32" (61cm-81cm)
M	28" - 36" (71cm-91cm)
L	34" - 42" (61cm-107cm)
XL	40" - 48" (102cm-122cm)
XXL	46" - 54" (117cm-137cm)
XXXL	52" - 60" (132cm-152cm)

ベルト仕様

ベルト材料	ナイロン
Velcro®	YKK製面ファスナー
ベルト ファスナー	ITW Nexus 127-3200

端末カバー

Vocollectでは、オプションで端末用の保護カバーを提供しています。

- 端末カバーの使用は必須ではありませんが、Vocollectでは外観の維持と製品寿命を延ばすのに役立つカバーの使用を強く推奨しています。
- 冷凍環境では、保護カバーを使用することにより電池寿命を延ばすことが可能です。



図 29 : T5 エラストマー スキン カバー

- 本端末カバーは、端末を充電器にセットする際も取り外す必要がありません。
- EXO スケルトンカバーではさらに端末の落下保護性能が提供され、取り外しが容易で、すべての端末機能に対する完全なアクセスが可能となります。

T5/A500 エラストマー スキン カバー仕様

生地	熱可塑性エラストマー (Dynaflex G2755)
----	-----------------------------

A500、T5 シリーズ端末に対するカバーの取り付け

1. 端末がオフになっていない場合は、LEDインジケータが赤に変わり、オフになるまで、黄色の[再生/一時停止]ボタンを押したままにします。
2. すべての周辺機器を取り外します。
3. 電池の挿入区画が上を向き、端末ボタンが手前にくるように端末を持ちます。
4. 端末の接続ポート側にカバーの開口部をスライドします。端末の下部に位置する、カバーを適切に固定するためのタブの後ろをスライドするように、カバーを丁寧に引っ張ります。



図 30 : T5 シリーズ端末に対するカバー取り付け

5. 端末の丸くなった側にカバーの丸まった側を伸ばしします。
6. 使用する周辺機器を取り付けます。

付録 C

部品番号

部品番号インデックス：Vocollectウェアラブル コンピュータ

ウェアラブル コンピュータ	Vocollect部品番号
Talkman A700 ベース ユニット	TT-900
Talkman A710 (Bluetoothヘッドセットおよび周辺機器用)	TT-910
Talkman A720 (Talkmanコネクタ2個付属)	TT-920
Talkman A730 (統合されたスキャナ付属)	TT-930
Talkman A500 (A/B/G)	TT-800
Talkman A500 (B/G)	TT-801
Talkman T5m	TT-700-100-M
Talkman T5	TT-700
Talkman T2x	TT-601
Talkman T1	TT-100

部品番号インデックス：Talkmanアクセサリ

アクセサリ	Vocollect部品番号
A700端末ベルト	BL-801-X
A700 端末標準ホルスタ (A710およびA720用)	BL-901
A700 端末スキャナーホルスタ (A730用)	BL-902
T5/A500カバー	EO-700-1
T2シリーズ端末カバー	TC-601-1
T5/A500ショルダー ハーネス	HI-700-1
T5/A500クリップ付きベルト	BL-700-1 - BL-700-7
T5/A500クリップ	BL-700-101B (BL-700-1～BL-700-7、および HL-700-1と共に使用)

アクセサリ	Vocollect部品番号
T2クリップ付きベルト	ベルト：BL-601-101-7
T2クリップ	BL-602-101
T1ホルスタ	BL-100-101
A700大容量電池	BT-902
A700大容量電池、1箱24個入り	BT-902-100B
A700標準電池	BT-901
A700標準電池、1箱24個入り	BT-901-100B
A700 メンテナンス ケーブル、USB micro-B → Type A	RS-900-1
A500/T5高性能電池	BT-700-2
A500/T5高性能電池 (50個入り箱)	BT-700-2-101B
T2シリーズ標準電池	BT-601
T2シリーズ大容量電池	BT-602
T2シリーズ大容量電池 (25個入り箱)	BT-602-101B
T1標準電池	BT-101
Vehicle Mount、ホルダー、Talkman A500/T5シリーズ	BL-710-1
Vehicle Mount、ホルダー/ベースネジ止めアタッチメント、Talkman A500/T5シリーズ	BL-710-101
Vehicle Mount、アーム、Talkman A500/T5シリーズ	BL-710-102
Vehicle Mount、クランプ、Talkman A500/T5シリーズ	BL-710-103
電池アダプタ、DC-DC、Talkman A500/T5シリーズ	BT-710
ケーブル、電池アダプタ、Talkman A500/T5シリーズ	CM-710-102
電源、9-36 VDC入力	CM-710-110
電源、18-60 VDC入力	CM-710-111

部品番号インデックス：充電器


充電器 - 端末	Vocollect部品番号
A700 6 ベイ端末充電器および電源	CM-901
A700 12 ベイ電池充電器および電源	CM-902
A700 充電器電源	CM-901-101
A700 充電器マウンティング レール	CM-1000-20-101
T5/A500 10-ベイ統合充電器	CM-700-1

充電器 - 端末	Vocollect部品番号
T5/A500単一ベイ統合充電器	CM-700-2
T2シリーズ充電器	CM-601-1
T2シリーズ電池充電器	CM-602-1
T5充電器、電源	(CM-700-1用)
T2シリーズ充電器、電源	PS-601-1 (CM-601-1、CM-602-1用)
T5 10-ベイ統合充電器取り付けブラケット	CM-701-1 (CM-700-1用)
T2シリーズ充電器スタンド	(CM-601-1用)
T2シリーズ壁面マウント キット、複数充電器	CM-604-1 (CM-601-1用)
T1 10-ベイ統合充電器	CM-100
T1単一充電ケーブルおよび電源アダプタ	CM-103

付録 D

テンプレートのトレーニング オプション

すべての新しい作業員は、Vocollectの音声システムで作業を実施するにあたり、対応する音声テンプレートのトレーニングを行う必要があります。管理者は作業員に対して、Talkman端末を使用する際におけるテンプレートのトレーニング方法について4つのオプションを提供できます。

 注: テンプレートのトレーニングを行う際は、自然な発声を心がけてください。

Talkman端末のみによるトレーニング

ハンドヘルド端末でテンプレートを作成するには、管理者により、システムが音声のみオプションを使用するように設定されている必要があります。

1. [再生/一時停止]ボタンを押すことにより、端末をオンにします。
LEDインジケータがわずかな時間赤く点灯した後、緑に変わります。端末が「数秒間声を出さずに静かにして下さい。」というメッセージを發します。端末はわずかな間をおいて「ゼロと言ってください」というメッセージを發します。
2. 「ゼロ」と言ってください。
端末から「いち」という声が聞こえます。
3. 「いち」と言ってください。
端末から「に」という声が聞こえます。
4. 「に」と言ってください。
端末が「次の言葉を言ってください。」というメッセージを發します。
5. 端末がそれぞれの単語を發する度に、同じ単語を端末に対して話し返してください。端末が同じ単語の發声を少なくとも4回要求します。端末の指示に従い、繰り返してください。フレーズの發声が要求された場合には、単語間に不自然な間を空けることなく、そのフレーズを自然に發音してください。端末は、作業内の全単語について必要な回数の要求を完了すると、「音声テンプレートを作成しています。お待ち下さい。」というメッセージを發します。その後、残りの音声テンプレートすべてが作成し終えるまで、定期的にビープ音を發します。

ビープ音と共に、端末は「お待ち下さい。」というメッセージも繰り返しながら、ビジー状態にあることをユーザーに警告します。残りの音声テンプレートを作成し終えると、端末は「音声テンプレートが作成されました。」というメッセージを發します。これにより端末は休止モードに移行します。[再生/一時停止]ボタンを押すことにより、作業を開始できます。

端末によるビープ音は、すべての単語の入力後、約2分間にわたり繰り返されます。この間に何らかの端末ボタンが作業員により押されても、端末は「音声テンプレートを作成しています。お待ち下さい。」というメッセージを發します。

このプロセスは、後述の「単語の一覧を用いたトレーニング」セクションを参考にすることで、より容易に行えます。

QTERMビジュアルトレーニング端末、ケーブル付き



図 31 : Pidion BM-170 と QTERM-G55

- ビジュアルトレーニング端末は、作業員が言うべき言葉を表示し、作業員はそれを読んでトレーニングすることができます。
- Vocollectは Pidion BM 170 Talkman A500 または A700 のデバイスで使用することをおを推奨しています。Vocollectは QTERM-G55 Talkman T5 または T2xのデバイスで使用することをおを推奨しています。
- これらの端末は、作業員が言うべき単語を表示する液晶画面を備えています。作業員は、端末の音声を聞くよりも表示される言葉を読んだ方が、自然な会話のトーンでトレーニングを行うことができます。
- Vocollectはビジュアルトレーニング端末を赤色のポートに接続できるコネクタ付きケーブルを提供しています。
- QTERMビジュアルトレーニング端末の付属ドキュメントとソフトウェアはメーカーのWebサイトから無料でダウンロードできます。ユーザーマニュアル、データシート、チュートリアル、付属ソフトウェアを含むサポート情報に関してはこのサイトを参照してください。

QTERMビジュアルトレーニング端末を設定します

1. トレーニング端末が正しく設定されていることを確認します。詳細については、QSIまたは販売店から提供されている、トレーニング端末の手順書を参照してください。
2. 付属のケーブルを使用して端末にトレーニング端末を接続します。
3. <作業名>.vcfファイルで、設定可能パラメータ**TrainDevicePort = Red**を設定して、トレーニング端末ポートを有効にします。
4. 端末に作業を再読み込みします。
作業を読み込んでもトレーニング端末が動作しない場合は、端末の電源をオフにしてから、もう一度オンにします。

QTERMビジュアルトレーニング端末構成します

 注: 1.x または 3.x のバージョン VoiceClient のための9600 既定の設定を変更できません。

1. 端末に作業が読み込まれていることを確認します。
2. 端末が休止状態であることを確認します。
3. トレーニング端末が端末に接続されていることを確認します。
4. トレーニング端末で1キーを押したままにします。
5. 1キーを押したまま、端末の黄色の再生/一時停止ボタンを押します。
6. トレーニング端末の画面にコントラストが表示されます。

7. トレーニング端末で、コントラストを上げるには1を、コントラストを下げるには2を、現在の設定を受け入れるには3を押します。
3を押すと、トレーニング端末の画面にボーレートが表示されます。
8. ボーレートが9600であると画面に表示されるまで、トレーニング端末で1を押します。次に、3を押してそのレートを受け入れます。
3を押すと、トレーニングの画面にビット数が表示されます。
9. トレーニング端末で3を押して、ビット設定として8を受け入れます。
トレーニング端末の画面にパリティが表示されます。
10. トレーニング端末で、3を押して、パリティ設定として"n" (なし)を受け入れます。
トレーニング端末の画面にストップビットが表示されます。
11. トレーニング端末で3を押して、ストップビット設定として1を受け入れます。
12. 端末で黄色の再生/一時停止ボタンを押して、端末の電源をオンにします。
端末で雑音のサンプルが採取され、トレーニングが開始されます。

ビジュアル トレーニング端末を用いたトレーニング

Vocollectは Pidion BM 170 Talkman A500 または A700 のデバイスでを使用することをおを推奨しています。
Vocollectは QTERM-G55 Talkman T5 または T2xのデバイスでを使用することをおを推奨しています。

1. トレーニング端末が設定済みであることを確認してください。
2. トレーニング端末をTalkman 端末に接続します。
3. [再生/一時停止]ボタンを押すことにより、Talkman端末をオンにします。

LEDインジケータがわずかな時間赤く点灯した後、緑に変わります。トレーニング端末が「数秒間声を出さずに静かにして下さい。」というメッセージを發します。

注:

- ウェアラブル コンピュータがこのメッセージを發しない場合には、[作業員]ボタンを押し、背景雑音のサンプリングを行ってください。
- トレーニング端末画面で単語の表示が確認できない場合には、端末のコントラストに問題があるかもしれません。メーカーのドキュメントを参照してください。

Talkman端末から「ゼロと言ってください」という声が聞こえ、トレーニング端末に表示されます。

4. 「ゼロ」と言ってください。
Talkman 端末から「いち」という声が聞こえ、トレーニング端末に表示されます。
5. 「いち」と言ってください。
Talkman端末から「に」という声が聞こえ、トレーニング端末に表示されます。
6. 「に」と言ってください。
Talkman端末から「画面に表示されている通りに言葉を言ってください。」という声が聞こえます。

Talkman端末は単語音声の再生を停止し、それらを画面にのみ表示します。端末表示のとおり、単語を言ってください。単語はランダムな順序で表示され、ユーザーの發生内容を正確に記録するために、最低4回にわたり繰り返されます。フレーズの發声が要求された場合には、単語間に不自然な間を空けることなく、そのフレーズを自然に言ってください。


端末は、作業内の全単語について必要な回数の要求を完了すると、「音声テンプレートを作成しています。お待ち下さい。」という声が聞こえます。その後、残りの音声テンプレートすべてが作成し終えるまで、定期的にビーブ音を發します。

ビープ音の発声と共に、端末は「お待ち下さい。」というメッセージも繰り返しながら、ビジー状態にあることをユーザーに警告します。残りの音声テンプレートを作成し終わると、端末から「音声テンプレートが作成されました。」という声が聞こえます。これにより端末は休止モードに移行します。[再生/一時停止]ボタンを押すことにより、作業を開始できます。

端末によるビープ音は、すべての単語の入力後、約2分間にわたり繰り返されます。この間に何らかの端末ボタンが作業員により押されても、端末は「音声テンプレートを作成しています。お待ち下さい。」というメッセージを發します。

トレーニング端末の接続を解除し、[再生/一時停止]ボタンを押すことにより、作業を開始できます。


VoiceConsole画面を介したトレーニング

 注: この機能はVoiceConsole 3.0以降およびVoiceClient 3.5以降を使用している場合のみサポートされます。

VoiceConsole 3.0以降およびVoiceClient 3.5以降を使用している場合には、端末がトレーニングを要求する単語を、ユーザー インターフェイスを介しコンピュータ画面上に表示したり、トレーニングプロセスの進行と共にポケットPC端末の画面で確認することが可能です。詳細は、VoiceConsoleオンライン ヘルプの「端末と作業員との間の音声指示の表示」を参照してください。

単語の一覧を用いたトレーニング

トレーニング中の作業員による端末音声認識が困難であると予想される場合には、作業で使用され、作業員に対して端末がトレーニングを要求する単語の一覧を印刷することが可能です。

 注: 本機能はVoiceConsole 3.1以降のバージョンでサポートされています。

 注: このトレーニング手法はTalkman T1向けに推奨されるものです。

1. 新しい作業員が使用する予定の作業を現在の作業員が既に実施している場合には、VoiceConsoleに移動し、現在の作業員を用いた音声テンプレートの表示ステップを実施します。詳細はVoiceConsoleオンライン ヘルプの「作業員番号の管理」を参照してください。
2. VoiceConsoleの[<作業員名>のテンプレート管理]ページで、トレーニング済みの単語を印刷します。VoiceConsoleオンライン ヘルプの「リスト データの印刷用バージョンの表示」を参照してください。
3. 必要に応じ、印刷された一覧で、一般的に聞き間違いを発生しやすい単語や聞き取りづらい単語に丸を付けます。

Vocabulary Word	Size (Bytes)	Version	Last Trained
all	2053	T-Series v.2	4/9/10 3:14:43 PM EDT
backup	2203	T-Series v.1	6/18/10 11:26:51 AM EDT
black	1818	T-Series v.1	6/18/10 11:26:43 AM EDT
cancel	2124	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
continue	2205	T-Series v.1	6/18/10 11:26:31 AM EDT
current	2261	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
description	2809	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
down	1817	T-Series v.1	6/18/10 11:26:49 AM EDT
down	2122	T-Series v.2	6/17/10 3:15:37 PM EDT
erase	2074	T-Series v.1	6/18/10 11:26:55 AM EDT
exit	2190	T-Series v.2	6/7/10 9:25:48 AM EDT
help	1881	T-Series v.1	6/18/10 11:26:48 AM EDT
item	2054	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
license	2397	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
none	1817	T-Series v.1	6/18/10 11:26:50 AM EDT
partial	2057	T-Series v.2	4/9/10 3:14:43 PM EDT
repeat	2042	T-Series v.2	6/18/10 10:18:34 AM EDT
sleep	2123	T-Series v.2	4/9/10 3:14:42 PM EDT
yes	2257	T-Series v.2	4/9/10 3:14:43 PM EDT

図 32 : 一般的に聞き間違いを発生しやすい単語や聞き取りづらい単語に丸を付けた一覧

4. 新しい作業員は、トレーニングに先だって一覧を確認し、使用される単語に慣れておくことをお勧めします。

新しい作業員が使用する予定の作業が、過去にテンプレートのトレーニングが実施されていないものである場合には、管理者や現在の作業員が該当する作業に対するテンプレートのトレーニングを実施したうえで、前述のステップを実施する必要があります。実際のトレーニングの進め方については、前述の「Talkman 端末のみによるトレーニング」セクションにある指示に従ってください。

付録 E

準拠

この付録には、Vocollect製品の規制準拠情報が含まれています。

Vocollect™ 規制の準拠

機関準拠宣言

Vocollectの端末やワイヤレス ヘッドセットは、販売地域の規則および法律に準拠するように設計されており、必要に応じてラベルが貼られています。Vocollectの端末はタイプが承認されているので、使用前にライセンスまたは認証を受ける必要はありません。Vocollect, Inc.によって明示的に承認されない変更または修正を行うと、装置を操作する権利が無効になる可能性があります。

Federal Communications Commissionの準拠

FCC Class B準拠宣言

FCC規則Part 15 (B)


本デバイスは、FCC規則Part 15に準拠しています。本端末は、(1)有害な干渉を引き起こさず、(2)好ましくない動作が発生する可能性がある干渉を含む、すべての受信される干渉に対応する必要があるという2つの条件に従って操作する必要があります。

メモ：本装置は、FCC規則Part 15に従って試験が実施され、Class Bデジタル デバイスの制限事項に準拠することが確認されています。これらの制限事項は、住宅に設置した場合に、有害な干渉から適切に保護することを目的としています。本装置は、電波周波エネルギーを発生、使用、および放出する可能性があります。指示に従ってインストールおよび使用を行わないと、無線通信に有害な干渉が生じる可能性があります。ただし、特定の設置において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が電源のオン/オフによりラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こしている場合は、次の1つ以上の方法によって干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を設定し直すか、位置を変える。
- 装置と受信機の間をさらに離して配置する。
- 受信機を接続している配線とは別の配線のコンセントに装置を接続する。
- ディーラーまたはラジオ/テレビの技術者に問い合わせる。

RF暴露に関する説明

警告： Vocollect の無線製品は、International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP)、IEEE C95.1、Federal Communications Commission Office of Engineering and Technology (OET) Bulletin 65、Canada RSS-102、European Committee for Electrotechnical Standardization (CENELEC) の定めるRF (Radio Frequency) 暴露制限に準拠しています。

 注意：高周波への暴露。

- 次の端末には、低出力ラジオが内蔵されています。Talkman™ 端末および SRX Wireless Headset。
- Vocollect端末およびヘッドセットからの放射出力は、FCCの無線周波数の暴露限界値をはるかに下回るものです。

- しかし、Vocollect端末は、通常操作時の無線アンテナとの接触の可能性を最小限に抑えるように使用する必要があります。ケースが開いている場合や、内部アンテナが露出している場合は、端末を使用しないでください。未使用時は、Vocollect端末の電源をオフにしておく必要があります。また、この端末の指示に従って、端末を装着する必要があります。



Avertissement:

Exposition aux radiations de fréquences radio.

- Les appareils suivants contiennent chacun une radio de faible puissance interne: Talkman dispositifs et casque sans fil SRX/SRX2.
- La puissance de rayonnement des appareils de Vocollect et casques est bien inférieure aux limites d'exposition aux fréquences radio de la FCC/IC/EU.
- Néanmoins, les dispositifs Vocollect doivent être utilisés de telle sorte que le potentiel pour le contact humain avec l'antenne de la radio pendant le fonctionnement normal est réduit au minimum. L'appareil ne doit pas être utilisé si le boîtier est ouvert ou si l'antenne interne est exposée. Lorsqu'il n'est pas utilisé, les dispositifs de Vocollect doivent être éteints. En outre, l'appareil doit être porté en conformité avec les instructions pour cet appareil.

Vocollect製品には、次のいずれかの無線通信端末が内蔵されています。端末のラベルをご覧ください。

Vocollect 端末	カード製造業者および製品番号	Vocollect FCCID 番号	Vocollect カナダ用 ID 番号	最大 SAR 値	
Appareil de Vocollect	Fabricant de la carte et P/N			La valeur maximale	
				(1 グラム平均)	(10 グラム平均)
T5 モデル: TT-700-100	USI WM-BB-AG-01 Murata LBMA46LBA3	MQOTT700-10000	MQOTT700-10000	0.471W/kg	データなし
T5 モデル: TT-700-100_R (RoHS 準拠)	Summit SDC-MCF10G Murata LBMA46LBA3	MQOTT700-20000	2570A-TT700200	0.689W/Kg	データなし
T5 モデル: TAP700-01	Summit SDC-MCF10G Murata MURATA- LBMA46LCS3- TEMP	MQO-TAP700-01	2570A-TAP70001	0.038W/Kg	0.016W/Kg

カナダの適合性宣言

本端末は Industry Canada license-exempt RSS 規格に準拠しています。本端末は、(1) 干渉を引き起こさず、(2) 好ましくない動作が発生する可能性がある干渉を含む、すべての干渉に対応する必要があるという2つの条件に従って操作する必要があります。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Cumplimiento de normas mexicana

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Маркировка ЕАС и соблюдение Российские нормативов (Russian Compliance)


Предназначенная для продажи в России, Казахстана и Беларуси продукция маркирована специальным образом (знак ЕАС), что указывает на соответствие Таможенный союза требованиям и нормам. Поправки и дополнения к этим требованиям и нормам также учтены.

(Products intended for sale in Russia, Kazakhstan, and Belarus are labeled with the EAC mark, which indicates compliance with the Customs Union requirements and standards. Amendments to these requirements and standards are included.)

Модель (Model)	Инвентарного номера (Part Number)	Номер модели (Model Number)
Комбинированное зарядное устройство на 10 ячеек T5/A500 (T5/A500 Combination Charger)	CM-700-1	CM-700-1-1
	Made in USA, страна производства США Ratings (voltage), Напряжение: 220V-50Hz	
Соответствие агента: Л.Н. Голубова , генеральный директор, ООО "Дофин" , 140573, РФ, Московская обл., Озерский район, с. Бояркино, Compliance agent: L.N. Golubova, CEO, Dofin, Ltd., Boiarkino, Ozersky area, Moscow region, 140573 Russia		

CEマーキングとヨーロッパの準拠

欧州連合内での販売を目的とした製品にはCE Markが付けられ、次のような適用すべき指示とEuropean Normes (EN)に準拠していることが示されます。これらの指示またはENの改訂を含みます。

モデル	部品番号	モデル 番号
T5	TT-700-100	TT-700-100
T5m	TT-700-100-M	TT-700-100-M TT-700-100_R TT-700-100_RG
	重要事項：本端末は、2.4 ~ 2.48 GHz RF端末であり、EUとEFTA加盟国(制限のあるフランスおよびイタリア以外)のオフィスおよび軽工業での使用を対象としています。	
イタリアの規制：施設外で使用する場合は、一般的な承認が必要です。		
フランスの規制：屋外で使用する際は、2454~2483.5 MHzの帯域内で10mW e.i.r.p.までの出力とします。		

モデル	部品番号	モデル 番号
T5	TT-700-100 TT-700-100-M	TAP700-01
	本端末は2.4 GHz無線端末でありあらゆるEUおよびEFTA加盟国における軽作業での使用を想定しています。	

Bluetooth®無線端末の規制認定

Vocollect端末は、組み込み型Bluetooth®モジュールを内蔵しており、米国電気電子技術者学会(IEEE)、全米規格協会(ANSI)、連邦通信委員会(FCC)で策定された無線エネルギーの安全レベルに関する最新の適用規格に準拠するように設計されています。

Bluetoothのワード マークおよびロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有物であり、Vocollectによるこれらのマークの使用はライセンスに基づくものです。その他の商標および商号は各所有者に帰属します。



Made in the U.S.A.

Vocollect
Pittsburgh, PA



適合宣言書：RoHS

2011年6月8日の欧州議会および理事会の指令2011/65/EC

有害物質の使用制限(RoHS)

Vocollectが製造した製品

2011年6月8日の欧州議会および理事会の指令2011/65/EC(RoHS 2)が適用される仕向地に2012年1月1日以降Vocollectが出荷するすべてのVocollect製造製品は、電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する同指令に準拠しています。

部品は、以下の物質について同一物質内の最大重量濃度を超えません。

- 鉛(Pb) 0.1%
- 六価クロム(Cr6+) 0.1%
- 多臭素化ジフェニル(PBB) 0.1%
- ポリ臭素化ジフェニル エーテル(PBDE) 0.1%
- カドミウム(Cd) 0.01%

または、RoHS指令の付属文書に定義された上記の制限の適用除外が認められています。

Vocollectが販売するサードパーティ製品

Vocollectは、2011年6月8日の欧州議会および理事会の指令2011/65/EC(RoH 2S)が適用される仕向地に2012年1月1日以降Vocollectが出荷するサードパーティ製品のバージョンは、電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する同指令に準拠していることの確認をすべてのサードパーティ製品の提供者から得ています。

部品は、以下の物質について同一物質内の最大重量濃度を超えません。

- 鉛(Pb) 0.1%
- 六価クロム(Cr6+) 0.1%
- 多臭素化ビフェニル(PBB) 0.1%
- ポリ臭素化ジフェニル エーテル(PBDE) 0.1%
- カドミウム(Cd) 0.01%

または、RoHS指令の付属文書に定義された上記の制限の適用除外が認められています。

索引

A

A500 10-ベイ統合充電器 42, 72
 A500 10-ベイ統合充電器電源 73
 A500アジャスタブル ショルダークーハーネス 75-76
 A500カバー 78
 A500ショルダークーハーネス 75-76
 A500充電器
 45
 LED 45
 A500端末
 16
 充電 16
 電池 16
 A500端末カバー 78
 A500電池仕様 71
 A500統合充電器用壁面マウント 44

C

configure
 84
 QTERM 84

L

LED
 21, 45
 A500充電器 45
 T5m充電器 45
 T5充電器 45
 LEDインジケータ
 21
 T5m端末 21
 T5端末 21

Q

QTERMビジュアル トレーニング端末 84
 QTERMビジュアル トレーニング端末
 84
 configure 84

R

RAMマウント 29-30

T

T5
 17
 充電 17

T5 10-ベイ統合充電器 42, 72
 T5 10-ベイ統合充電器電源 73
 T5 VMT 29
 T5/A500 10-Bay 統合充電器
 44
 電源接続 44
 T5m端末
 21
 LEDインジケータ 21
 T5アジャスタブル ショルダークーハーネス 75
 T5ショルダークーハーネス
 75-76
 仕様 76
 T5シリーズ仕様 71
 T5充電器
 45
 LED 45
 T5端末
 15-18, 21
 LEDインジケータ 21
 充電 16
 電池 16
 電池の取り外し 18
 電池挿入 17
 T5端末カバー
 77-78
 仕様 78
 取り付け 78
 T5電池仕様 71
 T5統合充電器用壁面マウント 44
 Talkman
 25
 コマンド 25
 Talkman T5 15
 Talkmanアクセサリ
 79
 部品番号 79
 Talkmanウェアラブル コンピュータ
 79
 部品番号 79
 Talkman車載ターミナル 73
 Talkman端末
 9, 18
 概要 9
 電池の取り外し 18

V

vmt
 73
 Talkman VMT 73

VMT

- 29, 36, 67
- 取り付けのベストプラクティス 36
- 正しい取り付け 36

あ

- アクセサリ
- 75
- Talkman 75

い

- インストール
- 29, 31–32, 34
- フォークリフト内のT5 29
- 車載端末 32, 34
- 取り付けブラケット 31

う

- ウェアラブル コンピュータ
- 79
- 部品番号 79

え

- エラーメッセージ
- 52, 61
- 音声 61
- 番号付き 52

お

- オレンジ 21, 45

く

- クリアビュー 31
- クリーニング手順 26

こ

- コマンド 25

し

- シャットダウン 48

す

- スキャンを行わない 47

て

- テンプレート
- 48
- 読み込み 48

と

- トラブルシューティング
- 47–48
- バーコードリーダーがスキャンを行いません 47
- ヘッドセットから何も聞こえない 47
- 音声アプリケーションを読み込まない 48
- 機器における各種問題 47
- 端末がオフのまま 48
- 端末がオンにならない 48
- 端末がボタン操作に反応しない 48
- 端末が作業員テンプレートを読み込まない 48
- 端末のビープ音 47
- トレーニング
- 83–86
- テンプレート 83, 85–86
- ビジュアルトレーニング 84
- ビジュアル端末 84
- トレーニングテンプレート 83, 85–86

は

- バーコードリーダーがスキャンを行いません 47
- ハードウェアマニュアル、概要 3

ひ

- ビープ音発生 47
- ピッチ
- 23
- 変更 23
- ピッチ調整 23

ふ

- フォークリフト
- 29, 31
- T5をインストール 29
- 端末の配置 31
- フォークリフト内の端末マウント 29–30

へ

- ヘッドセット
- 9
- 概要 9
- ヘッドセットから何も聞こえません 47
- ベルト
- 76–77
- サイズ 77

ベルト (続く)
仕様 77
ベルト クリップ 76

ほ
ポジション
31
フォークリフト内の端末 31
ボタン 48

